

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市三之丸駐車場改修工事

1. 現場の状況

- ・ 工事期間中も、定期契約者に限り通常通り駐車場の利用があります。
- ・ 本施設は営業時間の午前7時～午後10時までです。休業日はありません。
- ・ 駐車場内への経路は、車両の高さ(2.1m)、車両の幅(1.9m)の制限があります。

2. 留意事項

- ① 本工事は、消防設備工事(別途工事)の施工工程に合わせて工事を行います。施工工程については、図面 No. 3 の工事区画図及び図面 No. 19 の参考工程表に基づき監督員及び設備工事関係者と協議してください。
- ② 本施設は、一般利用者の駐車区画が 265 台分あります。工事期間中も一般利用(定期契約者に限る。)の車両が、100 台程度駐車できるようスペースを確保してください。
- ③ 作業に伴う駐車制限については、監督員及び施設管理者と協議してください。
- ④ 1～4 階の一部車路での作業時は、片側通行できるよう作業区画し警備員を配置してください。また、1～4 階ホール(天井ボード撤去)の作業時は、一般利用者が通行できるよう作業区画してください。なお、作業終了時は施設が通常通り利用ができるよう工事場所を開放してください。
- ⑤ 工事期間中は、第三者等の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じてください。
- ⑥ 作業や資材の搬出入の際、既存建物、車両などに損傷や汚れ等を与えないように必要に応じて、養生等の対策を講じてください。なお、損傷を与えた場合は受注者負担により速やかに復旧してください。
- ⑦ 仮設計画は、施設管理者及び監督員と協議してください。
- ⑧ 騒音・振動作業等は、事前に監督員及び施設管理者と十分に協議し行ってください。
- ⑨ 高所作業にあたっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。
- ⑩ 火器の使用を伴う作業の際は、適切な消火対策を講じてください。
- ⑪ 工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑫ 本工事は、建設リサイクル法の届出対象工事に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- ⑬ 工事車両の乗り入れについては、十分に安全を確認してください。
- ⑭ 本施設に工事車両の駐車は可能です。駐車方法等については、別途監督員及び施設管理者と協議してください。

3. 別途工事

消防設備工事(泡消火設備, 自動火災報知設備等)

4. 工事における「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」ロゴの標示について

「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」が 2025 年 5 月 18 日から 24 日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せてください。

5. 墜落制止用器具の着用について

労働安全衛生法施行令第 13 条第 3 項第 28 号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年 1 月 25 日厚生労働省告示第 11 号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）としてください。

福山市三之丸駐車場改修工事

図面リスト	
図面番号	図名
1	図面リスト
2	仕様書, 附近見取図, 配置図
3	工事区画図
4	1階平面図
5	2階平面図
6	3~6階平面図
7	R階平面図, PH2階平面図
8	1階天伏図
9	2~6階天伏図
10	立面図
11	展開図(1)
12	展開図(2)
13	展開図(3)
14	展開図(4)
15	展開図(5)
16	階段詳細図
17	詳細図(1)
18	詳細図(2)
19	参考工程表

福山市建設局建築部営繕課			2023年 11月		
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

福山市三之丸駐車場改修工事特記仕様書

1. 工事名称 福山市三之丸駐車場改修工事
2. 工事場所 福山市三之丸町地内
3. 建物概要 鉄骨造 6階建 延べ面積 8833.87㎡
4. 工事概要
 - ・ 屋上改修工事
 - ・ 劣化改修工事
 - ・ 内部改修工事
 - ・ 塗装改修工事

※本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

5. 別途工事 消防設備工事(泡消火設備,自動火災報知設備等)
6. 工事仕様

- 1) 共通仕様

図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。

 - a. 官庁手続き
 - ・ 受注者は、関係官公署への必要な手続きを代行する。（官公署手続きは、監督員の承諾後とする。）
 - b. 地元企業及び地場製品の活用
 - ・ 受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用に努める。
 - c. 疑義に対する協議等
 - ・ 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合いの関係で、設計図書によることが困難 若しくは不都合が生じた場合は監督員と協議する。
 - d. 工期の設定
 - ・ 本工事は、工事検査期間としての14日を含んでいる。
 - e. 工程表の提出
 - ・ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出する。

- 2) 特記仕様
 - a. 適用基準等
 - ・ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修
 - ・ 建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達
 - ・ 建築基準法、消防法、その他関係法令
 - b. 主任技術者
 - ・ 受注者は、主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の 入った名札を着用する。
 - c. 建築材料等
 - ・ 建築材料の製造所、製品及び施工業者等は、特記されたもの又は同等以上とする。ただし、同等とする場合は、監督員の承諾を受ける。また（社）公共建築協会が実施する「建築材料 設備機材等品質性能評価事業」によって所要の 品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。
 - ・ 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という）により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
 - d. 特別な材料の工法
 - ・ 材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。
 - ・ 本工事は、施工に当たり、東洋ゴム化工品（株）又はニッタ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、第三者機関による品質を証明する書類を提出すること。
 - ・ 建築標準仕様書（建築工事）に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
 - e. 発生材の処理
 - ・ 本工事に生じた廃棄物はすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。
 - ・ 建設副産物情報交換システム（COBRIS）（財）日本建設情報総合センター
 - ・ 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行なうものとする。また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

	施工計画時	工事完了時
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

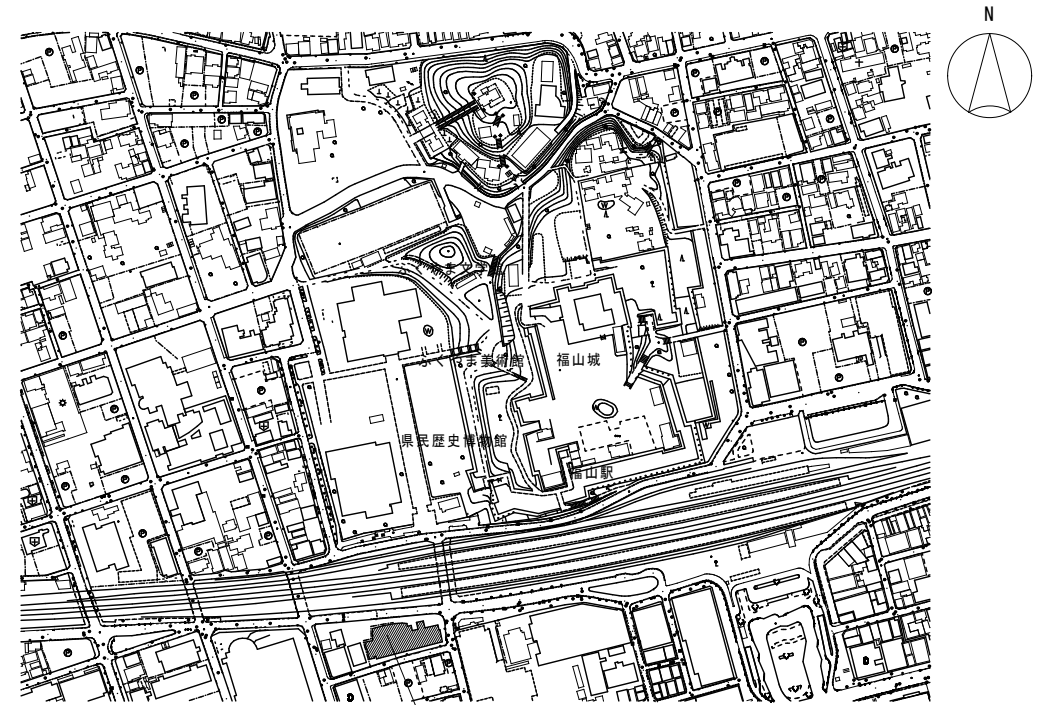
- f. 工事及び完成写真
 - ・ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処理場に搬入する建設廃棄物については広島県産業廃棄物埋立税が課税される。なお、本工事で、広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。
- g. 工事実績情報の登録
 - ・ 工事着手前 工事中及び完了時に撮影した写真、その他本工事が適正に施工されたことが確認できる写真をA4版に整理し1部提出する。
 - ・ 受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。
 - ・ 登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

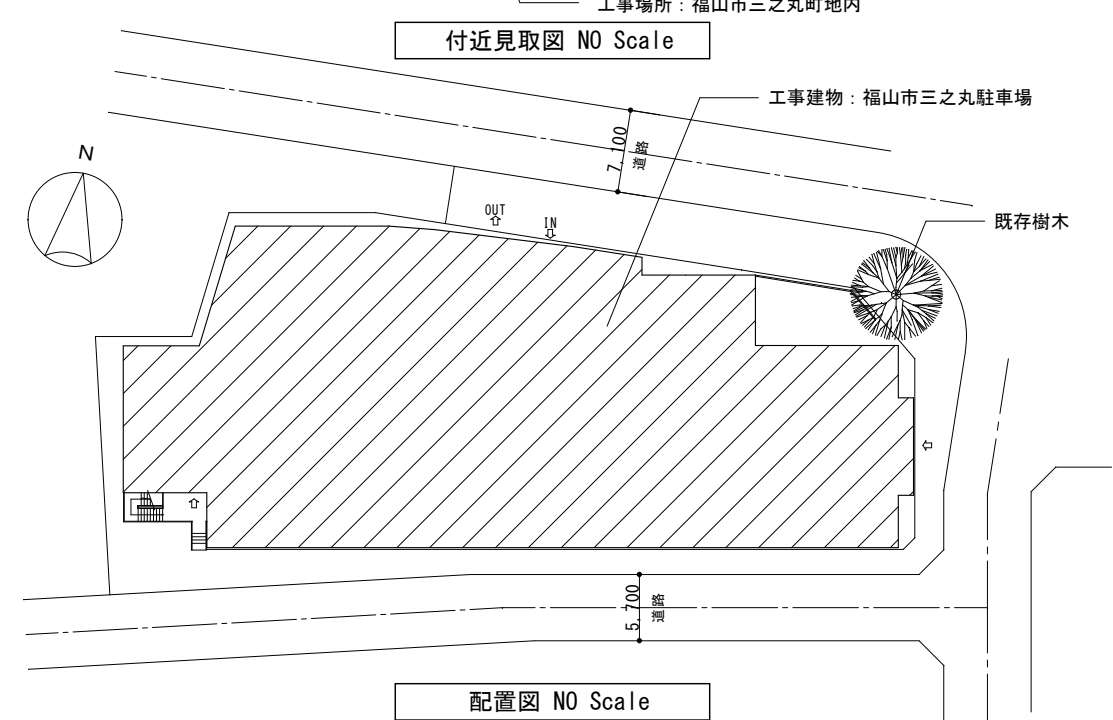
- h. 別契約の関連工事との調整等
 - ・ 変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う（請負代金のみ変更の場合、登録不要）
 - ・ ※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。（登録要）
 - ・ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
 - ・ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。
- i. 施工数量調査
 - ・ 調査範囲 図示
 - ・ 調査方法 テストハンマーによる打診及び目視
 - ・ 施工数量調査は、調査範囲面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置並びに数量（幅、長さ、面積）について行う。
 - ・ 調査結果により、適切な工法を選定し報告すること。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督員に提出する。（必要に応じ写真を添付する）

- 3) 仮設工事
 - a. 工事用水及び電力
 - ・ 工事用水は、利用できない。
 - ・ 工事電力は、利用できない。
 - b. 安全対策
 - ・ 施工に際しては、関係法令を遵守し工事現場内の安全を図ると共に、監督員と連絡協議を密に行い、第三者の安全に第三者の安全に十分な注意を払い、その対策を講ずる。
 - ・ 車両の出入・材料の搬入、搬出時は特に注意する。
 - ・ 本工事は、交通誘導員として48名見込んでいる。
 - ・ ※交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。
 - c. 足場
 - ・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による 足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
 - d. その他
 - ・ 工事車両の駐車スペースについては、施設管理者と協議する。
 - ・ 工事中は養生を十分行い、既存施設や工事目的物の施工済み部分等について汚損又は損傷しないように注意する。なお、損壊した場合は、受注者の責任において復元する。
 - ・ 工事敷地内に現場事務所は設置できない。

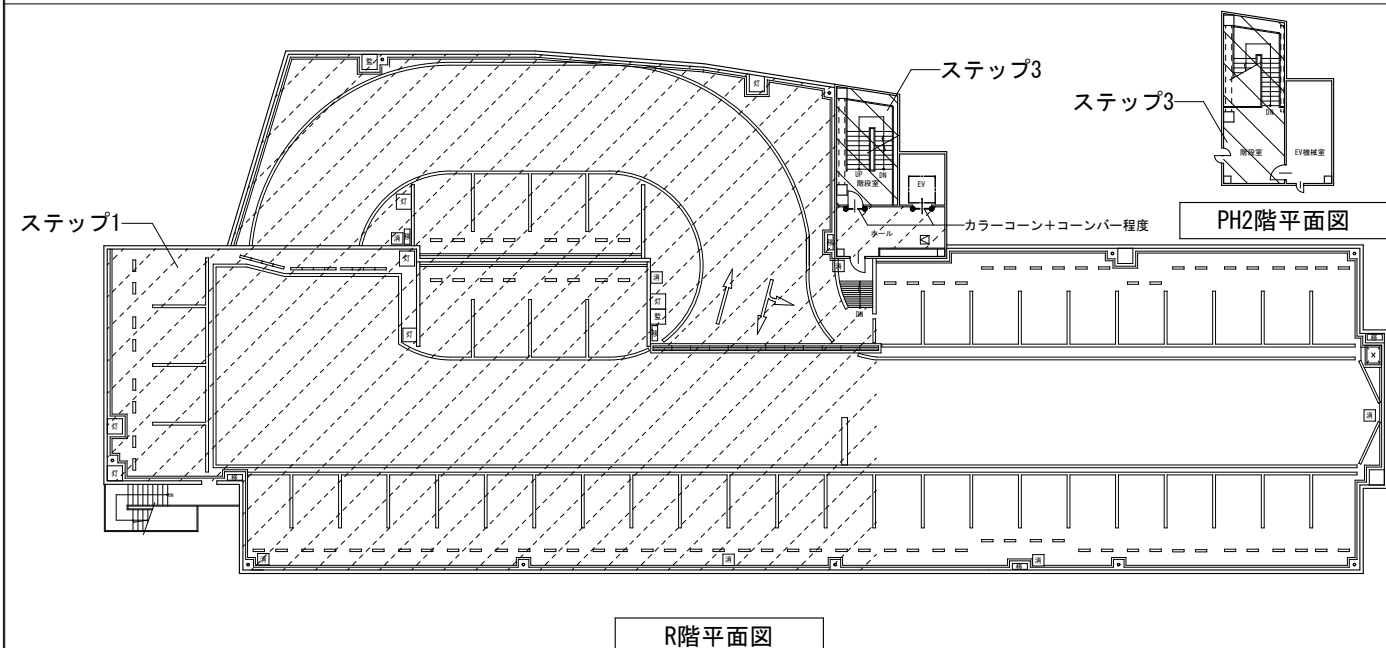
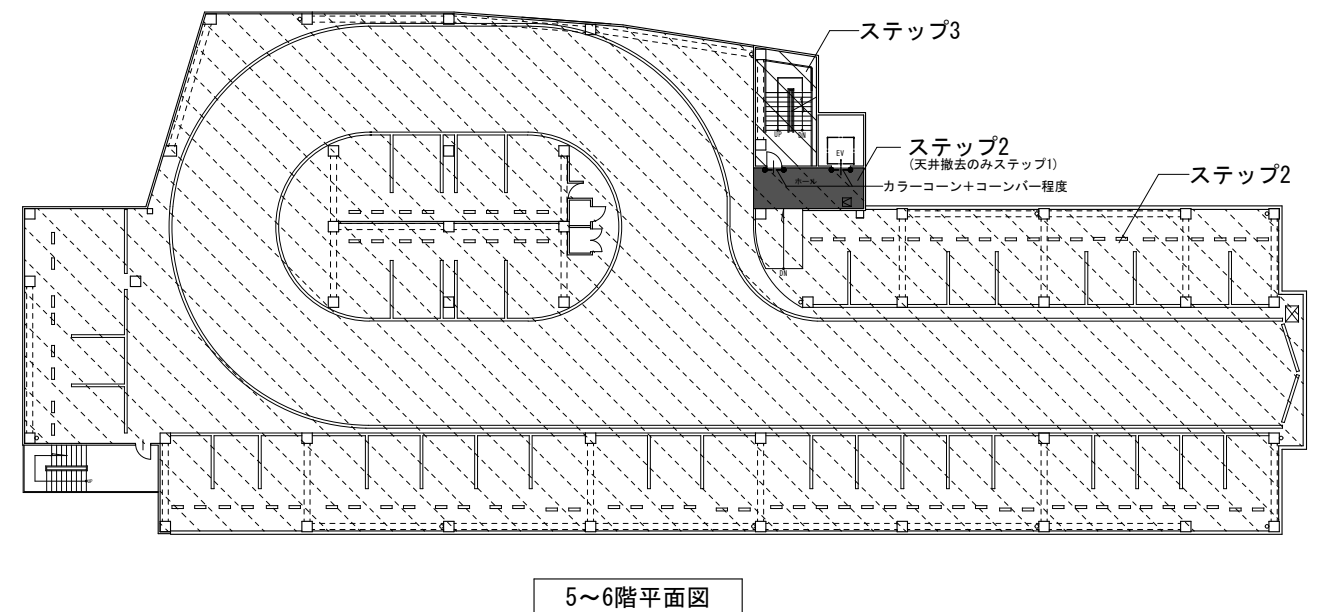
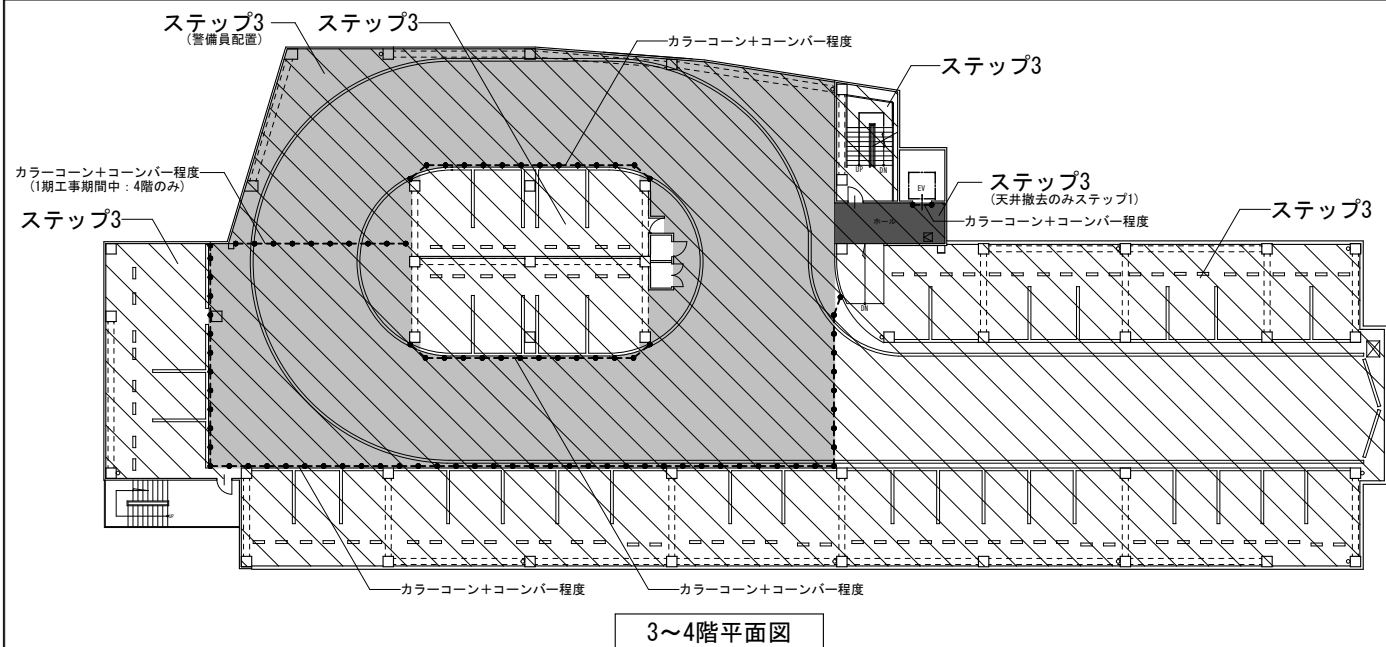
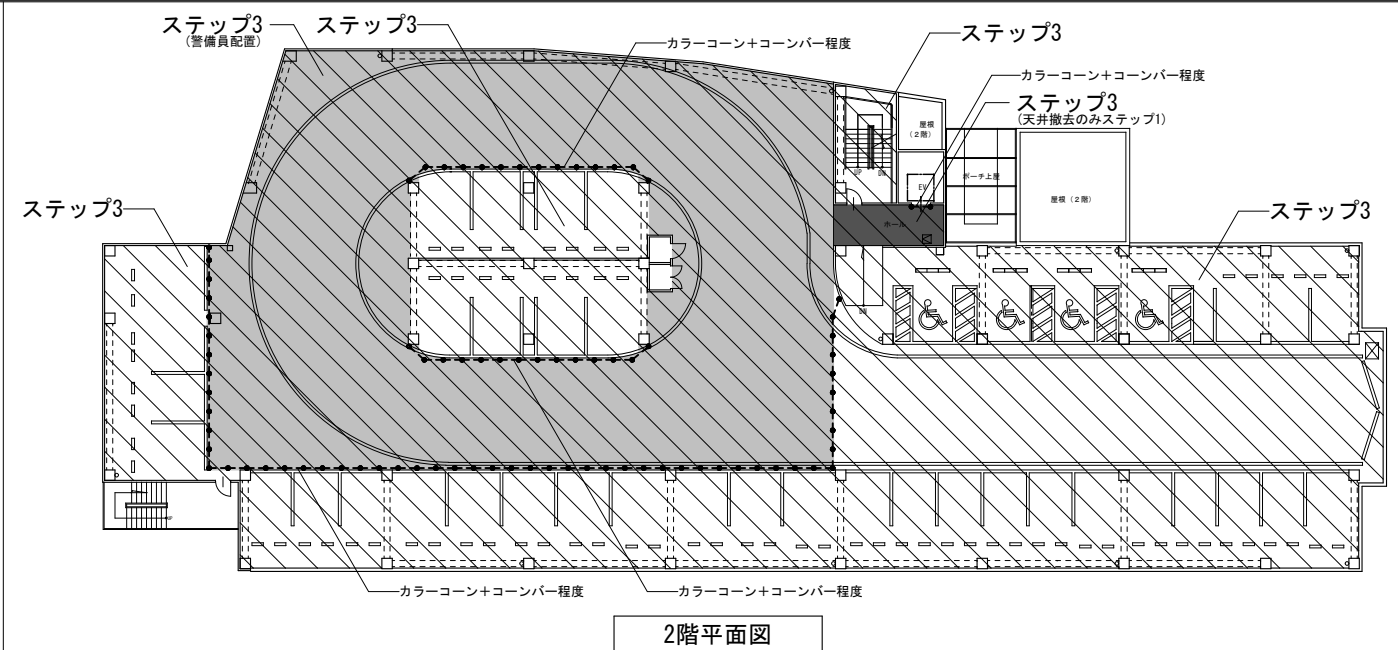
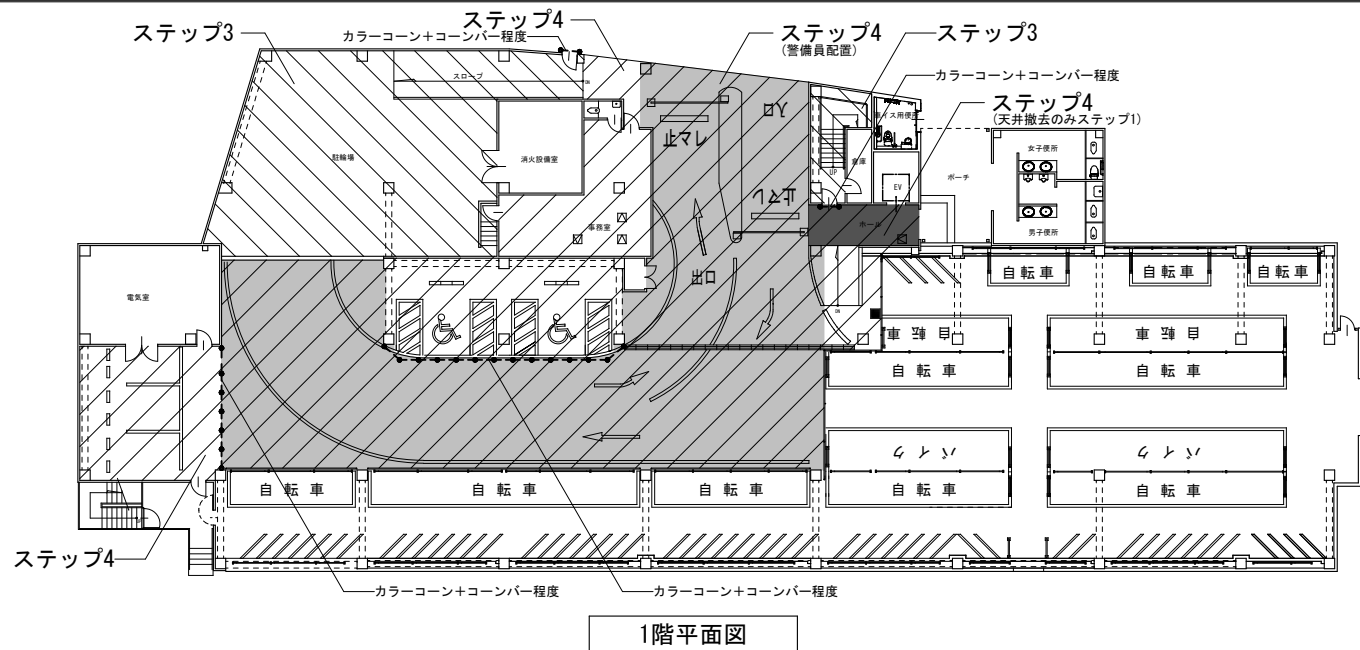
- 4) 舗装工事
 - a. 区画線
 - ・ 舗装厚 30（表層のみ）
 - ・ 再生アスファルト 60～80
 - ・ シールコート 行わない
 - ・ 加熱アスファルト混合物等の種類 表層 密粒度アスファルト混合物
 - ・ 切り取り検査 行わない
 - ・ アスファルト混合物等の抽出試験 行わない
 - b. 区画線
 - ・ 路面標示用塗料 3種1号
 - ・ 色 白、橙
 - ・ 塗布幅 図示 塗布厚さ 1.0



付近見取図 NO Scale



配置図 NO Scale



建築工事の流れ ※建築工事の施工工程は、別途工事(消防設備工事)に合わせることを。

改修ステップ	改修場所	改修内容
ステップ1	R階 駐車場	屋上防水改修工事・劣化改修工事
ステップ1	ホール	劣化改修工事・内部改修工事・塗装改修工事
ステップ1	1~6階 ホール	内部改修工事(天井のみ撤去)
ステップ1	1階 事務室	内部改修工事(天井のみ撤去)
ステップ2	5~6階 駐車場・ホール	劣化改修工事・内部改修工事(天井撤去はステップ1)・塗装改修工事
ステップ3	1階 駐輪場	劣化改修工事・内部改修工事(天井撤去はステップ1)・塗装改修工事
ステップ3	1~PH2階 階段室	劣化改修工事・内部改修工事(天井撤去はステップ1)・塗装改修工事
ステップ3	2~4階 駐車場・ホール	劣化改修工事・内部改修工事(天井撤去はステップ1)・塗装改修工事
ステップ3(警備員配置)	2~4階 駐車場	塗装改修工事
ステップ4	1階 駐車場	劣化改修工事・内部改修工事・塗装改修工事
ステップ4	1階 ホール・事務室	内部改修工事(天井撤去はステップ1)・塗装改修工事
ステップ4(警備員配置)	1階 駐車場	内部改修工事(天井撤去はステップ1)・塗装改修工事

設備工事の流れ

(凡例)

- ステップ1 (1~4Fのみ使用。5F以上は利用停止し、工事を行う) BIFは機材置き場で使用
- ステップ2 (全設備停止。ポンプ室~5F以上までの泡配管接続。各階アラーム弁まで施工) 2024年度3月 消防検査(1回目)受検・5F以上を利用可能な状態とする
- ステップ3 (5F以上のみ使用。2~4Fは利用停止し、工事を行う) 消防検査(2回目)受検
- ステップ4 (2F以上のみ使用。1Fは利用停止し、工事を行う) 消防検査(3回目)受検・消防用設備工事完了

【設備工事: 特記事項】

- ・契約車両(約100台のみ)の駐車場利用を継続しながら、工事を行う。
- ・ステップ2以降、工事の完了した部分については、消防検査を受け、設備を使用できる状態にする。(下記ステップ2の期間(1~2週間程度と想定)は設備機能が全停止するため、本工事にて仮設消火器を設置して対応する)(各階平面図(P3)参考)
- ・ステップ2・3・4工事中は、工事エリア内で契約車両の通行があるため、車両等に十分に注意を払い、車路については、夜間工事として計画している。
- ・施工完了後、速やかに消防検査を受検し、順次、使用可能な状態とする。
- ・市の部分使用検査・工事完成検査も受検する。



工事名称 福山市三之丸駐車場改修工事
図面名称 工事区画図

縮尺 S=1/400

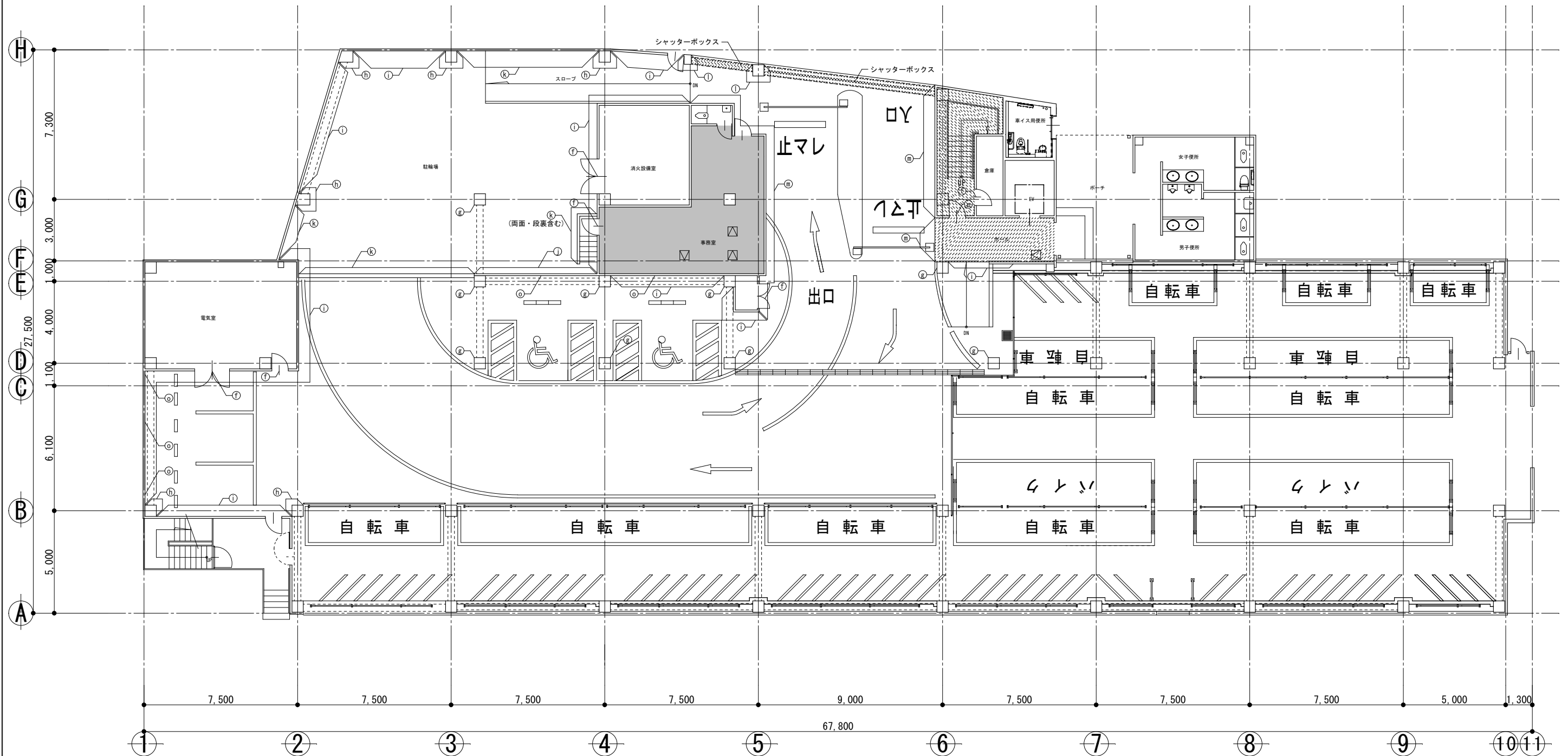
福山市建設局建築部営繕課
2023年 11月

改修範囲	改修内容
階段室	床 (1階) 改修: ①清掃
	壁 既存: 【ALC面】EP塗装 【コンクリート面】EP塗装 改修: ①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整(RB種) ⑤EP塗装(B種)
	柱・梁 既存: ラスモルタル下地EP塗装 改修: ①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整(RB種) ⑤EP塗装(B種)
	ブレース 既存: 鉄骨SOP塗装 改修: ①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	上裏 既存: 鉄骨SOP塗装
	ササラ 改修: ①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	踏面 既存: モルタル下地長尺シート張り 改修: ①清掃
	蹴上 改修: ①清掃
	手摺 既存: スチール製SOP塗装 改修: ①清掃

改修範囲	改修内容
ホール	床 既存: 磁器質100角タイル 改修: ①水洗い清掃
	壁 既存: 【ALC面】二丁掛タイル張り 【コンクリート面】二丁掛タイル張り 改修: ①水洗い清掃
	天井 既存: 石綿セメント板(t=5)塩化ビニルエナメル塗装 改修: ①既存石綿セメント板及び点検口(1箇所)撤去(軽量鉄骨下地残置) ②けい酸カルシウム板新設(t=6) ③点検口新設(1箇所) ④素地ごしらえ(B種) ⑤EP塗装(B種)
	別途工事: ①照明器具一時撤去 ②各種配管改修 ③照明器具復旧
天井見切 (ALC取合) 既存: 鋼製金物SOP塗装 改修: ①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)	
事務室	天井 既存: 化粧石膏ボード(不燃 t=9) 改修: ①機器及び備品養生 ②既存化粧石膏ボード及び点検口(3箇所)撤去(軽量鉄骨下地残置) ③化粧石膏ボード(不燃 t=9.5) ④点検口新設(3箇所)
	別途工事: ①照明器具一時撤去 ②各種配管改修 ③照明器具復旧
扉・枠	既存: スチール製SOP塗装 改修: ①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)

改修範囲	改修内容
②: 全面	柱 既存: ラスモルタル仕上げ 改修: ①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
③: 2面	柱 既存: 【ALC面】ALC版素地 【コンクリート面】コンクリート打放仕上げ 改修: ①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
①: 片面	壁 既存: 【ALC面】ALC版素地 【コンクリート面】コンクリート打放仕上げ 改修: ①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
①: 両面	壁 既存: コンクリート打放仕上げ 改修: ①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
①: 3面	柱 既存: コンクリート打放仕上げ 改修: ①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃 ④下地調整 ⑤複層塗材ローラー塗り
①: 片面	壁 既存: 【ALC面】吹付けタイル 【コンクリート面】吹付けタイル 改修: ①施工数量調査 ②劣化改修 ③高圧水洗浄 ④下地調整 ⑤複層塗材ローラー塗り
シャッターボックス	既存: スチール製SOP塗装 改修: ①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
サイン	①既存車室表示看板撤去(5箇所) ②車室表示看板新設(5箇所)

※ □: 点検口(450×450)を示す。
 ※吹付け塗装面は、アスベスト含有している。(調査済み)
 アスベスト除去範囲は、劣化部の改修作業に伴い必要最小限とする。
 ※劣化部の改修作業に伴い表示板が干渉する際は、一時撤去し復旧をする。
 ※石綿セメント板は、アスベスト含有している。(みなし)
 ※化粧石膏ボードは、アスベスト含有している。(みなし)
 ※車室表示は、駐車区画に合わせ連番になるよう新設する。



1階平面図 S=1:200

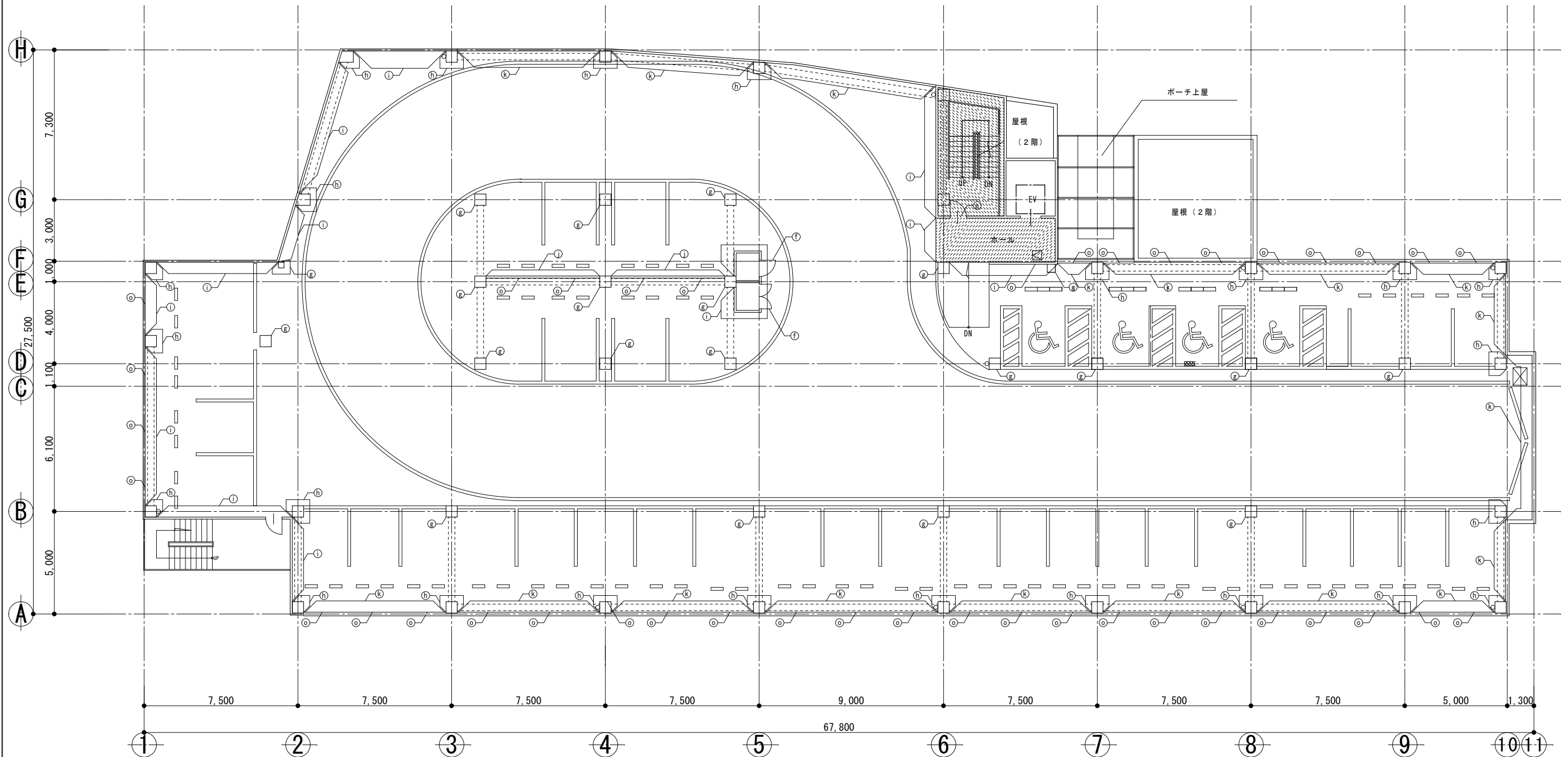
※施工上の留意点
 各種の設置位置は、監督員と協議すること。

改修範囲	改修内容
階段室	壁 既存：【ALC面】EP塗装 【コンクリート面】EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整(RB種) ⑤EP塗装(B種)
	柱・梁 既存：ラスモルタル下地EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整(RB種) ⑤EP塗装(B種)
	ブレース 既存：鉄骨SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	上裏 既存：鉄骨SOP塗装
	ササラ 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	踏面 既存：モルタル下地長尺シート張り 改修：①清掃
	蹴上 既存：スチール製SOP塗装 改修：①清掃

改修範囲	改修内容
ホール	床 既存：磁器質100角タイル 改修：①水洗い清掃
	壁 既存：【ALC面】ニ丁掛タイル張り 【コンクリート面】ニ丁掛タイル張り 改修：①水洗い清掃
	天井 既存：石綿セメント板(t=5)塩化ビニルエナメル塗装 改修：①既存石綿セメント板及び点検口(1箇所)撤去(軽量鉄骨下地残置) ②けい酸カルシウム板新設(t=6) ③点検口新設(1箇所) ④素地ごしえ(B種) ⑤EP塗装(B種)
	天井見切 (ALC取合) 既存：鋼製金物SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	扉・枠 既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)

改修範囲	改修内容
②：全面	柱 既存：ラスモルタル仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
③面・2面	柱 既存：【ALC面】ALC版素地 【コンクリート面】コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
①：片面	壁 既存：【ALC面】ALC版素地 【コンクリート面】コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
①：両面	壁 既存：コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
③：片面	壁 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
耐火被覆欠損部	既存：ロックウール吹付け(t=35) 改修：①既存ロックウール脆弱層撤去 ②ロックウール吹付け(t=35)
④	サイン ①既存車室表示看板一時取外し(40箇所) ②車室表示看板一部復旧(37箇所)

※ 点検口(450×450)を示す。
 ※劣化部の改修作業に伴い表示板が干渉する際は、一時撤去し復旧をする。
 ※石綿セメント板は、アスベスト含有している。(みなし)
 ※耐火被覆のロックウールは、アスベストが含まれていない。(調査済み)
 ※車室表示は、駐車区画に合わせ連番になるよう復旧する。



2階平面図 S=1:200

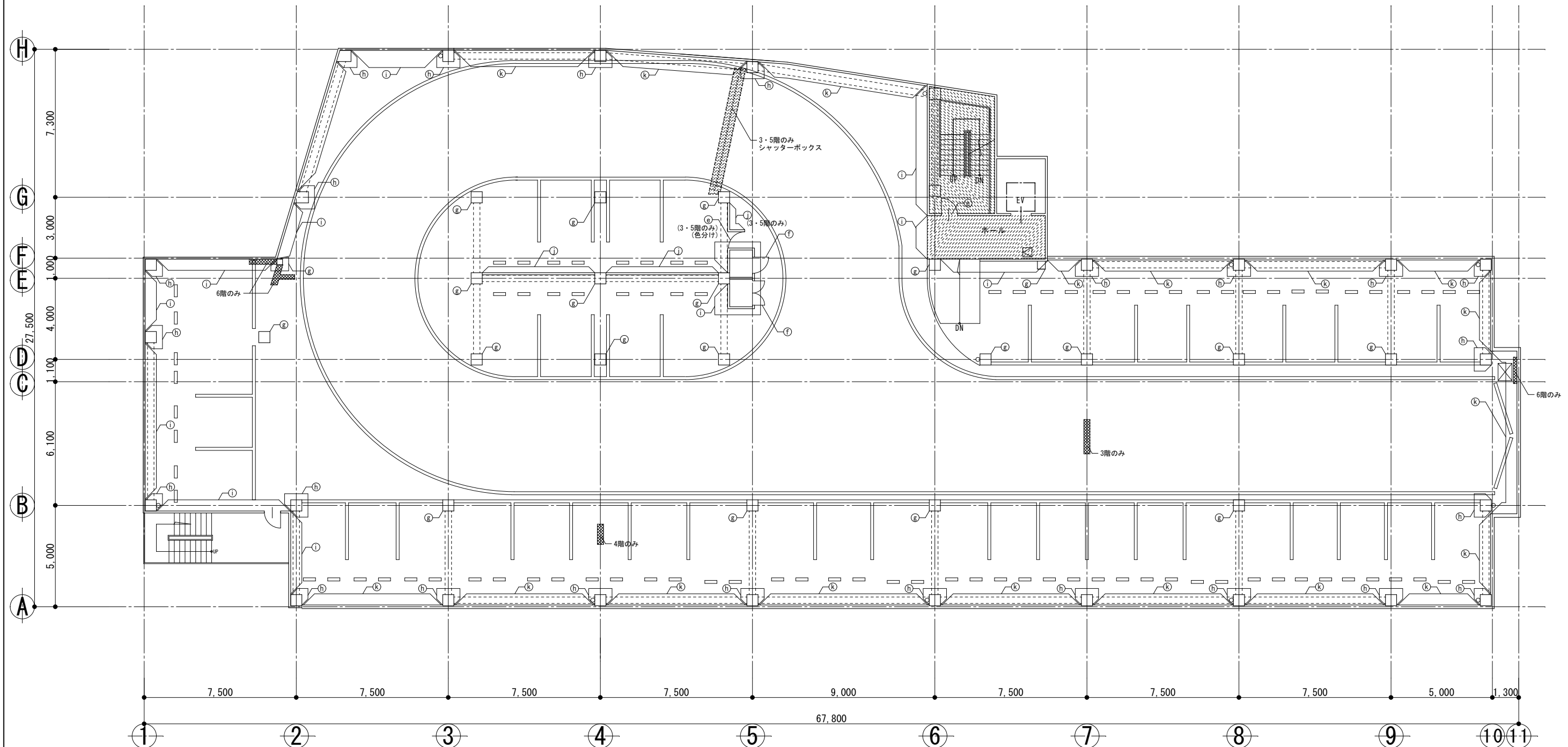
※施工上の留意点
 各種の設置位置は、監督員と協議すること。

改修範囲	改修内容
階段室	壁 既存：【ALC面】EP塗装 【コンクリート面】EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整(RB種) ⑤EP塗装(B種)
	柱・梁 既存：ラスモルタル下地EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整(RB種) ⑤EP塗装(B種)
	ブレース 既存：鉄骨SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	上裏 既存：鉄骨SOP塗装
	ササラ 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	踏面 既存：モルタル下地長尺シート張り
	蹴上 改修：①清掃
手摺 既存：スチール製SOP塗装 改修：①清掃	

改修範囲	改修内容
ホール	床 既存：磁器質100角タイル 改修：①水洗い清掃
	壁 既存：【ALC面】ニ丁掛タイル張り 【コンクリート面】ニ丁掛タイル張り 改修：①水洗い清掃
	天井 既存：石綿セメント板(t=5)塩化ビニルエナメル塗装 改修：①既存石綿セメント板及び点検口(各階1箇所)撤去(軽量鉄骨下地残置) ②けい酸カルシウム板新設(t=6) ③点検口新設(各階1箇所) ④素地ごしえ(B種) ⑤EP塗装(B種)
	天井見切 (ALC取合) 別途工事：①照明器具一時撤去 ②各種配管改修 ③照明器具復旧 既存：鋼製金物SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	扉・枠 既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)

改修範囲	改修内容
②：全面	柱 既存：ラスモルタル仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
③：2面	柱 既存：【ALC面】ALC版素地 【コンクリート面】コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
①：片面	壁 既存：【ALC面】ALC版素地 【コンクリート面】コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
①：両面	壁 既存：コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
③：片面	壁 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
耐火被覆欠損部	既存：ロックウール吹付け(t=35) 改修：①既存ロックウール脆弱層撤去 ②ロックウール吹付け(t=35)
シャッターボックス	既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)

※ □：点検口(450×450)を示す。
 ※劣化部の改修作業に伴い表示板が干渉する際は、一時撤去し復旧をする。
 ※石綿セメント板は、アスベスト含有している。(みなし)
 ※耐火被覆のロックウールは、アスベストが含まれていない。(調査済み)
 ※3・5階シャッター横の鋼製建具の厚塗装は、色分けを行うこと。



3~6階平面図 S=1:200

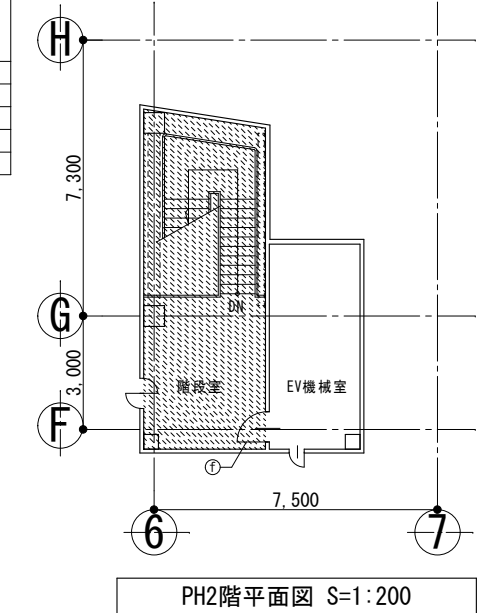
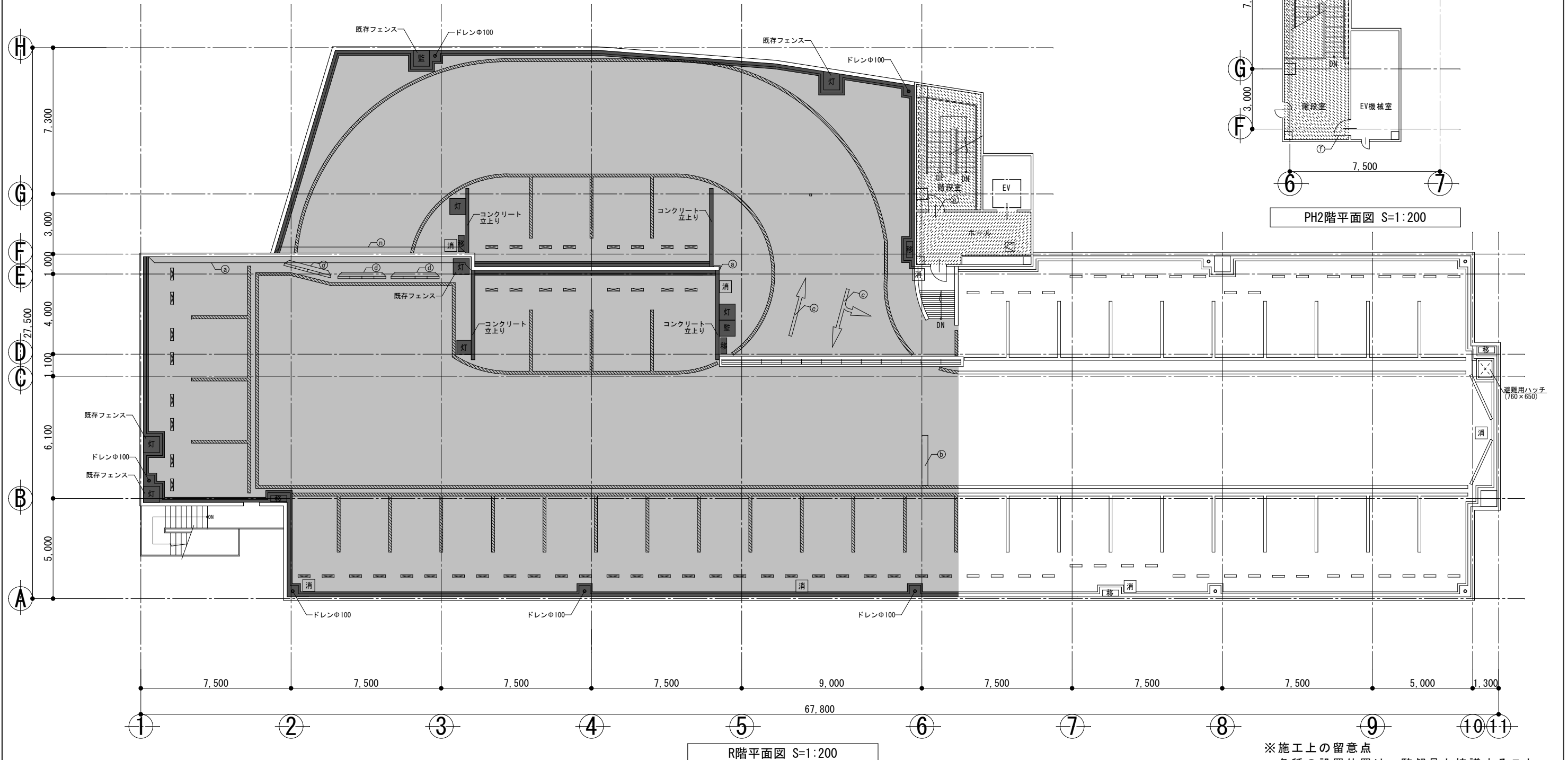
※施工上の留意点
 各種の設置位置は、監督員と協議すること。

改修範囲	改修内容
■ 屋上	既存：膨張剤混入コンクリート下地アスファルト舗装 (t=30) 改修：①カッター入れ ②既存アスファルト舗装撤去 (t=30) ③高圧洗浄 ④下地調整 ⑤防水入隅処理 ⑥アスファルト防水 (駐車場仕様) ⑦アスファルト舗装 (t=30)※1
■ 側溝 ■ コンクリート立上り	既存：コンクリート打放し (一部モルタル仕上げ) 改修：①既存ドレン (φ100) 撤去 (6箇所) ②ケレン清掃 ③ドレン (φ100) 新設 (6箇所) ④下地調整 ⑤ウレタン塗膜防水 (X-2)
■ 外灯基礎 ■ 監視カメラ基礎	既存：コンクリート打放し 改修：①既存フェンス一時撤去 (5箇所) ②ケレン清掃 ③下地調整 ④ウレタン塗膜防水 (X-2) ⑤既存フェンス復旧 (5箇所)
■ 移動式泡消火設備 ■ BOX基礎	既存：コンクリート打放し 改修：①ケレン清掃 ②下地調整 ③ウレタン塗膜防水 (X-2)
○ 幅木	既存：コンクリート打放し 改修：①ケレン清掃 ②下地調整 ③ウレタン塗膜防水 (X-2)
○ ライン	ライン引き (1箇所 W=300 橙色 溶解式)
○ ライン	誘導マーク新設 (2箇所 白色 溶解式)
○ 車止め	①既存車止めの撤去 (3箇所)
■ 車止め	①既存車止めの撤去 (50箇所) ②車止め新設 (50箇所)
○ ライン	ライン引き (W=150 白色 溶解式)
○ 上裏	既存：モルタル仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③高圧水洗浄 ④下地調整 ⑤外装薄塗材 E

改修範囲	改修内容
■ 床 (PH2階)	既存：コンクリート打放し防塵塗装 改修：①清掃
■ 壁	既存：【ALC面】EP塗装 【コンクリート面】EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整 (RB種) ⑤EP塗装 (B種)
■ 柱・梁	既存：ラスモルタル下地EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整 (RB種) ⑤EP塗装 (B種)
■ ブレース	既存：鉄骨SOP塗装 改修：①下地調整 (RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装 (3級)
■ 上裏	既存：鉄骨SOP塗装
■ ササラ	改修：①下地調整 (RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装 (3級)
■ 踏面	既存：モルタル下地長尺シート張り
■ 蹴上	改修：①清掃
■ 手摺	既存：スチール製SOP塗装 改修：①清掃

改修範囲	改修内容
■ 床	既存：磁器質100角タイル 改修：①清掃
■ 壁	既存：【ALC面】EP塗装 【コンクリート面】EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整 (RB種) ⑤EP塗装 (B種)
■ 間仕切り	既存：軽量鉄骨下地プラスターボード張り (t=12) EP塗装 改修：①既存プラスターボード撤去 (軽量鉄骨下地残置) ②プラスターボード新設 (t=12.5) ③素地ごしらえ (B種) ④EP塗装 (B種)
■ ホール	別途工事：①各種配管改修 既存：ラスモルタル下地EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整 (RB種) ⑤EP塗装 (B種)
■ 柱・梁	既存：ラスモルタル下地EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整 (RB種) ⑤EP塗装 (B種)
■ 天井	既存：石綿セメント板 (t=5) 塩化ビニルエナメル塗装 改修：①既存石綿セメント板及び点検口 (1箇所) 撤去 (軽量鉄骨下地残置) ②けい酸カルシウム板新設 (t=6) ③点検口新設 (1箇所) ④素地ごしらえ (B種) ⑤EP塗装 (B種)
■ ブレース	別途工事：①照明器具一時撤去 ②各種配管改修 ③照明器具復旧 既存：鉄骨SOP塗装 改修：①下地調整 (RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装 (3級)
■ 扉・枠	既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整 (RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装 (3級)

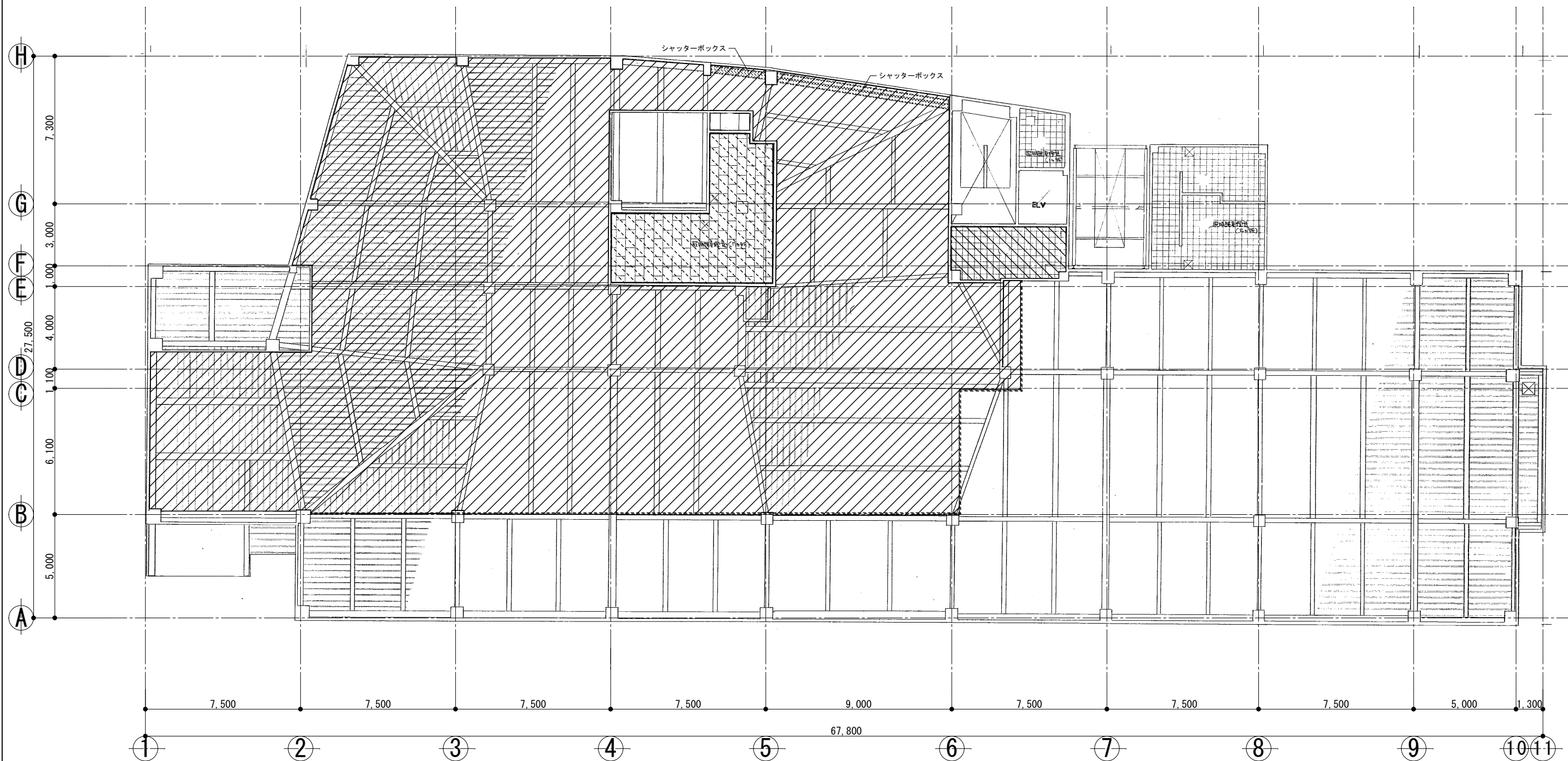
※1：既存取合部は、既存に合わせてすりつけを行うこと。
※□：点検口 (450×450) を示す。
※消：既存消火器BOXを示す。
※石綿セメント板は、アスベスト含有している。(みなし)



※施工上の留意点
各種の設置位置は、監督員と協議すること。

改修範囲		改修内容
	天井	既存：デッキプレートSOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗料2回塗り(鉛・クロムフリー)
	シャッターボックス	既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗料 ③DP塗装(3級)
	ホール	天井
		既存：石綿セメント板(t=5)塩化ビニルエナメル塗装 改修：①既存石綿セメント板及び点検口(1箇所)撤去(軽量鉄骨下地残置) ②けい酸カルシウム板新設(t=6) ③点検口新設(1箇所) ④素地ごしらえ(B種) ⑤EP塗装(B種) 別途工事：①照明器具一時撤去 ②各種配管改修 ③照明器具復旧
	事務室	天井
		既存：化粧石膏ボード(不燃 t=9) 改修：①機器及び備品養生 ②既存化粧石膏ボード及び点検口(3箇所)撤去(軽量鉄骨下地残置) ③化粧石膏ボード(不燃 t=9.5) ④点検口新設(3箇所) 別途工事：①照明器具一時撤去 ②各種配管改修 ③照明器具復旧

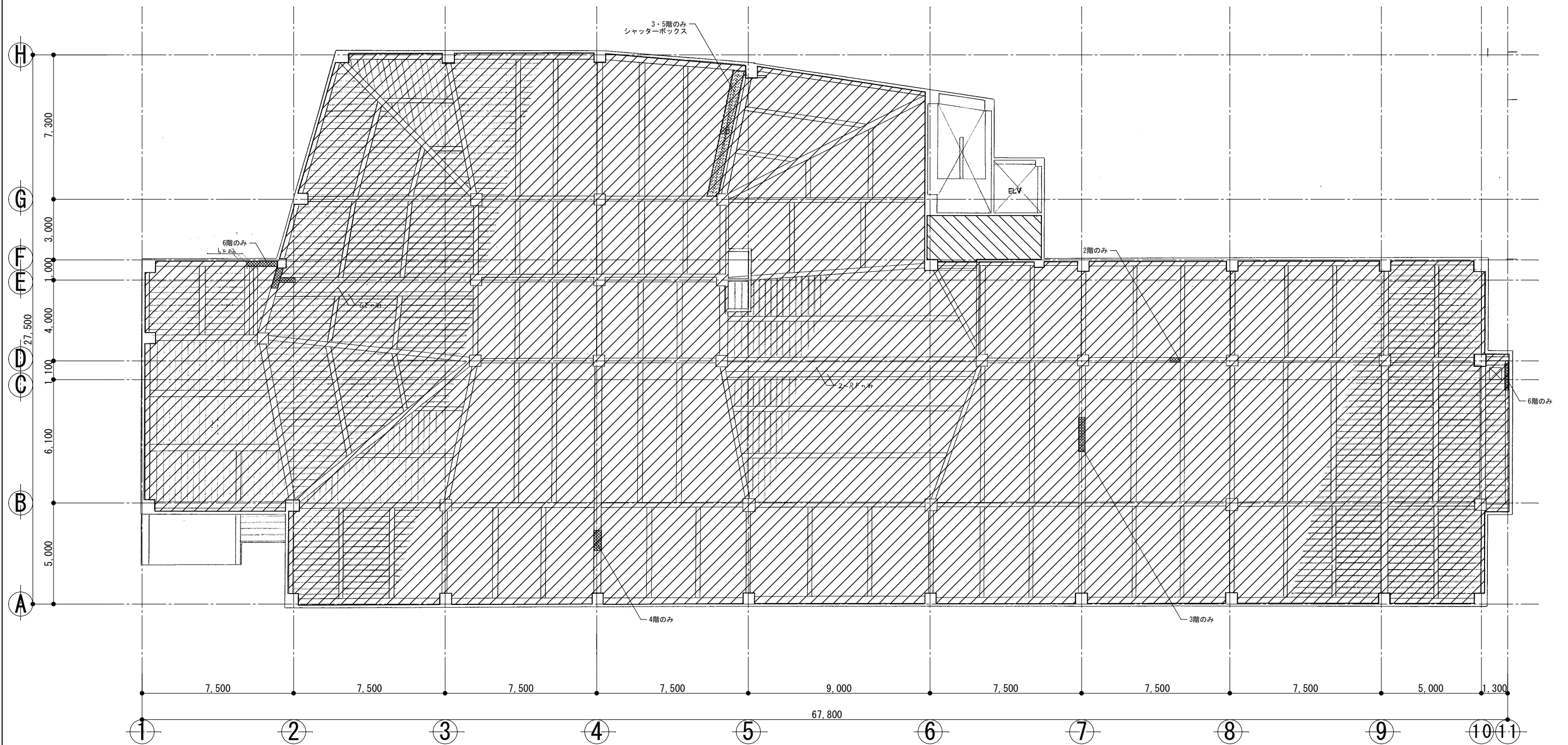
※改修範囲は、梁部分を除く。
 ※錆止め塗料は、グレー(N-60)程度とする。
 ※コ：既存メッシュフェンスを示す。
 ※耐火被覆のロックウールは、アスベストが含まれていない。(調査済み)
 ※石綿セメント板は、アスベスト含有している。(みなし)
 ※化粧石膏ボードは、アスベスト含有している。(みなし)



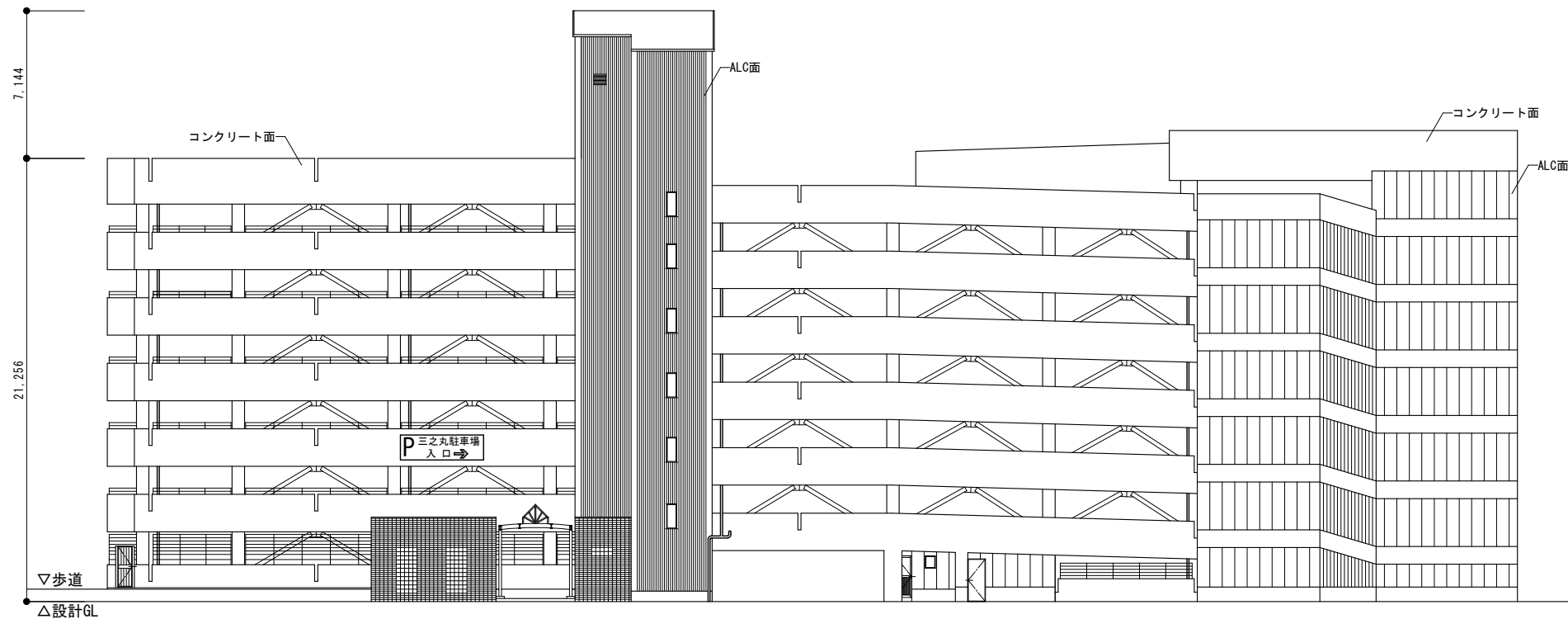
1階天伏図 S=1:200

改修範囲		改修内容
	天井	既存：デッキプレートSOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗料2回塗り(鉛・クロムフリー)
	耐火被覆欠損部	既存：ロックウール吹付け(t=35) 改修：①既存ロックウール脆弱層撤去 ②ロックウール吹付け(t=35)
	シャッターボックス	既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	ホール	天井
		既存：石綿セメント板(t=5)塩化ビニルエナメル塗装 改修：①既存石綿セメント板及び点検口(1箇所)撤去(軽量鉄骨下地残置) ②けい酸カルシウム板新設(t=6) ③点検口新設(1箇所) ④素地ごしらえ(B種) ⑤EP塗装(B種) 別途工事：①照明器具一時撤去 ②各種配管改修 ③照明器具復旧

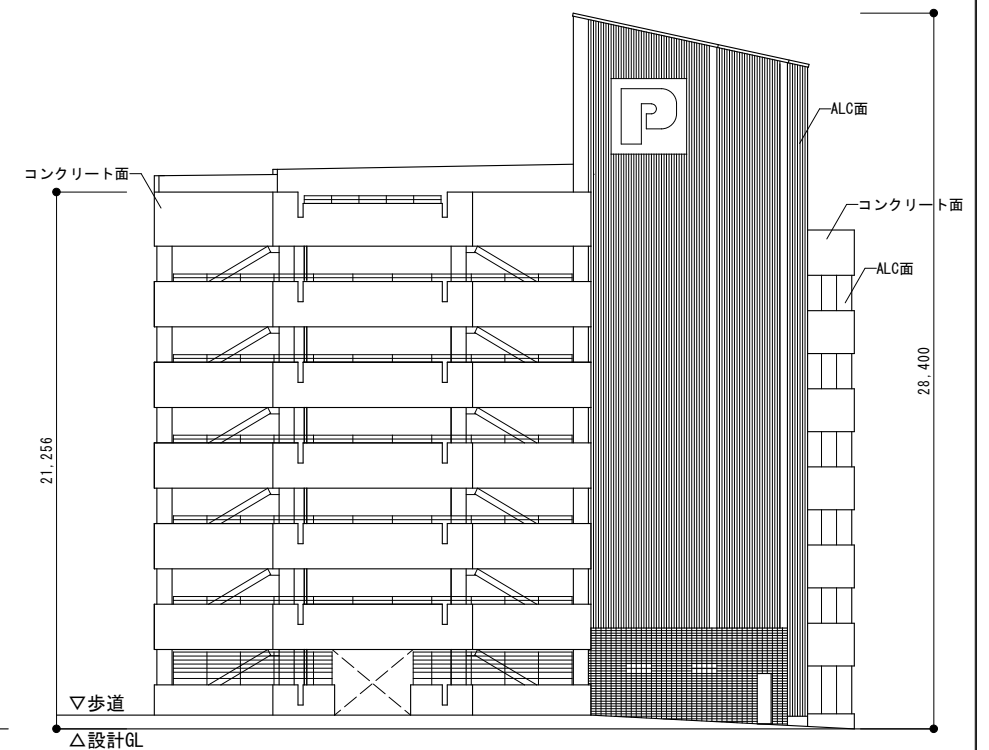
※改修範囲は、梁部分を除く。
 ※錆止め塗装色は、グレー(N-60)程度とする。
 ※耐火被覆のロックウールは、アスベストが含まれていない。(調査済み)
 ※石綿セメント板は、アスベスト含有している。(みなし)



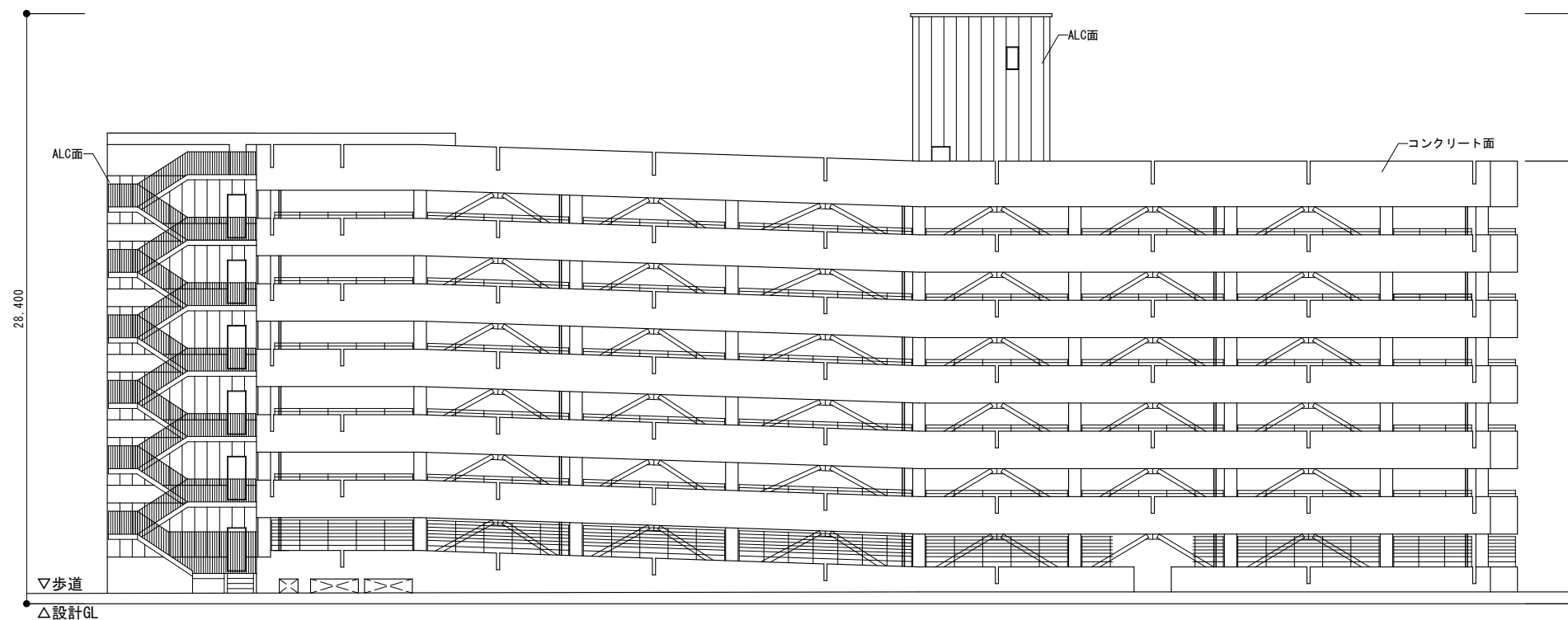
2～6階階天伏図 S=1:200



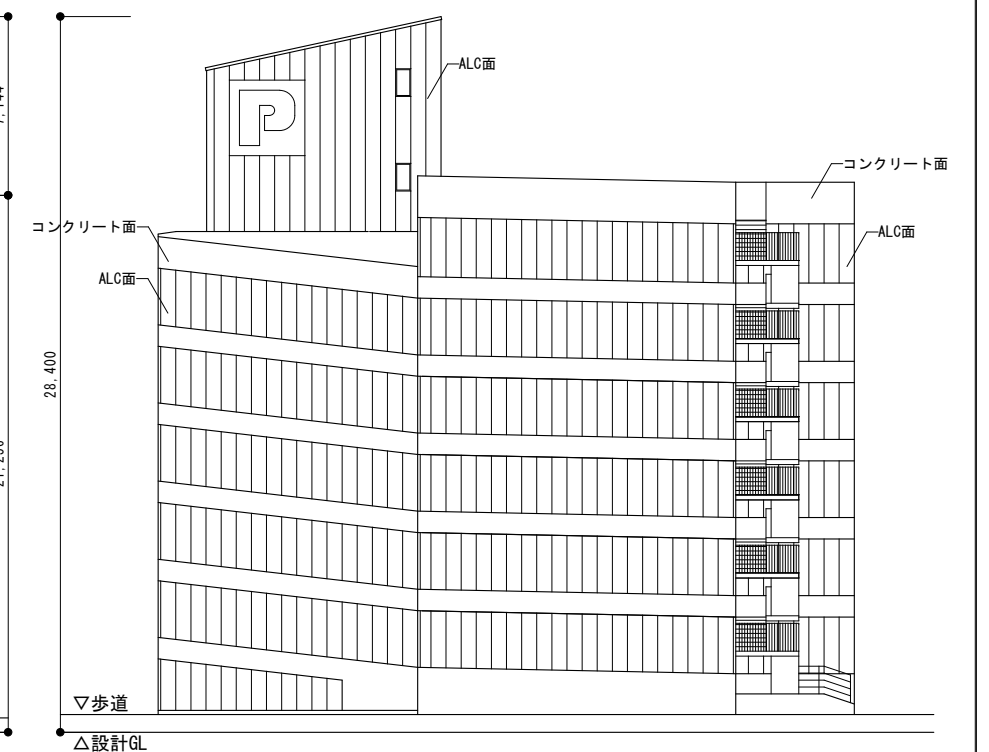
北立面図 S=1:300



東立面図 S=1:300



南立面図 S=1:300

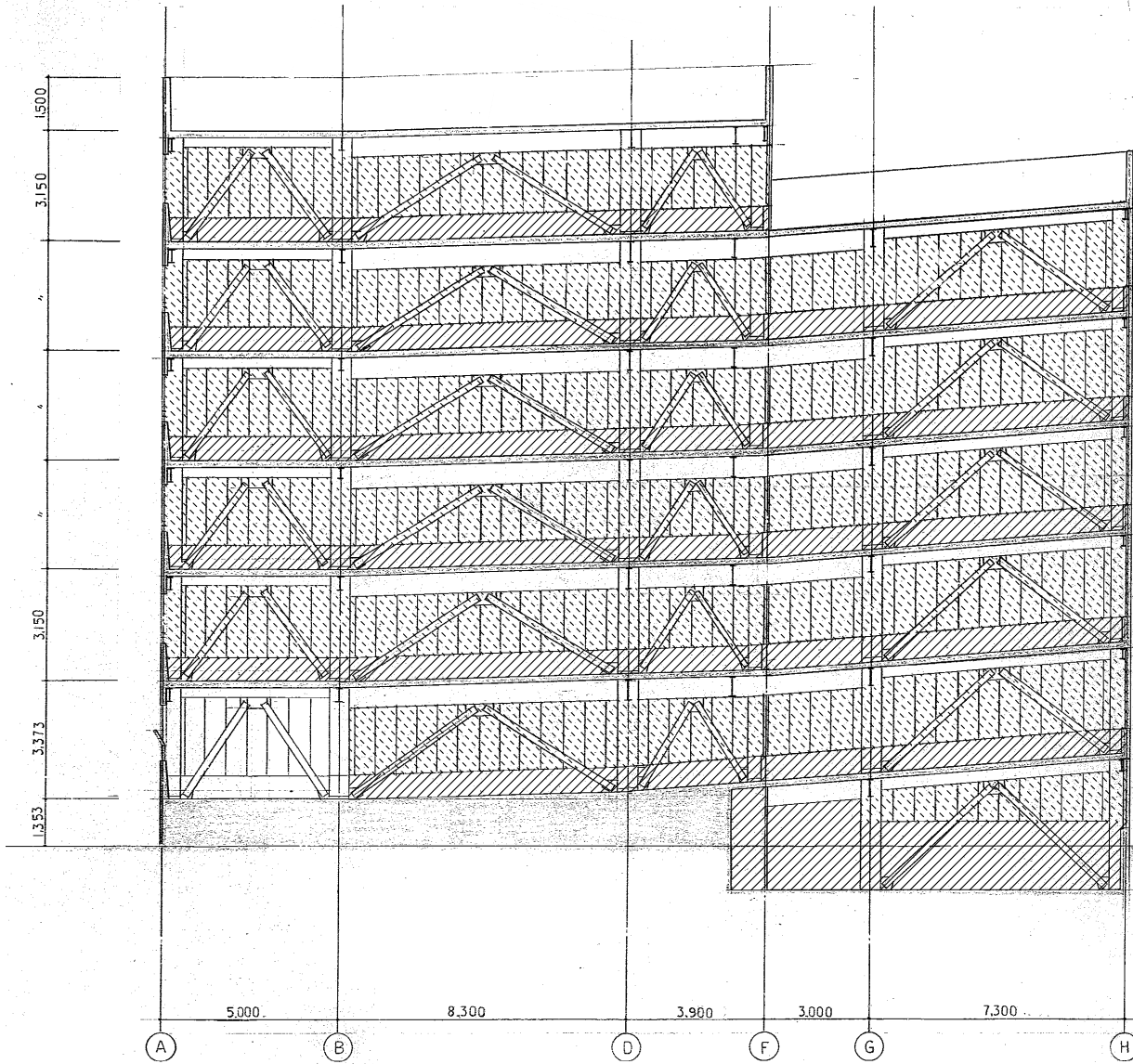


西立面図 S=1:300

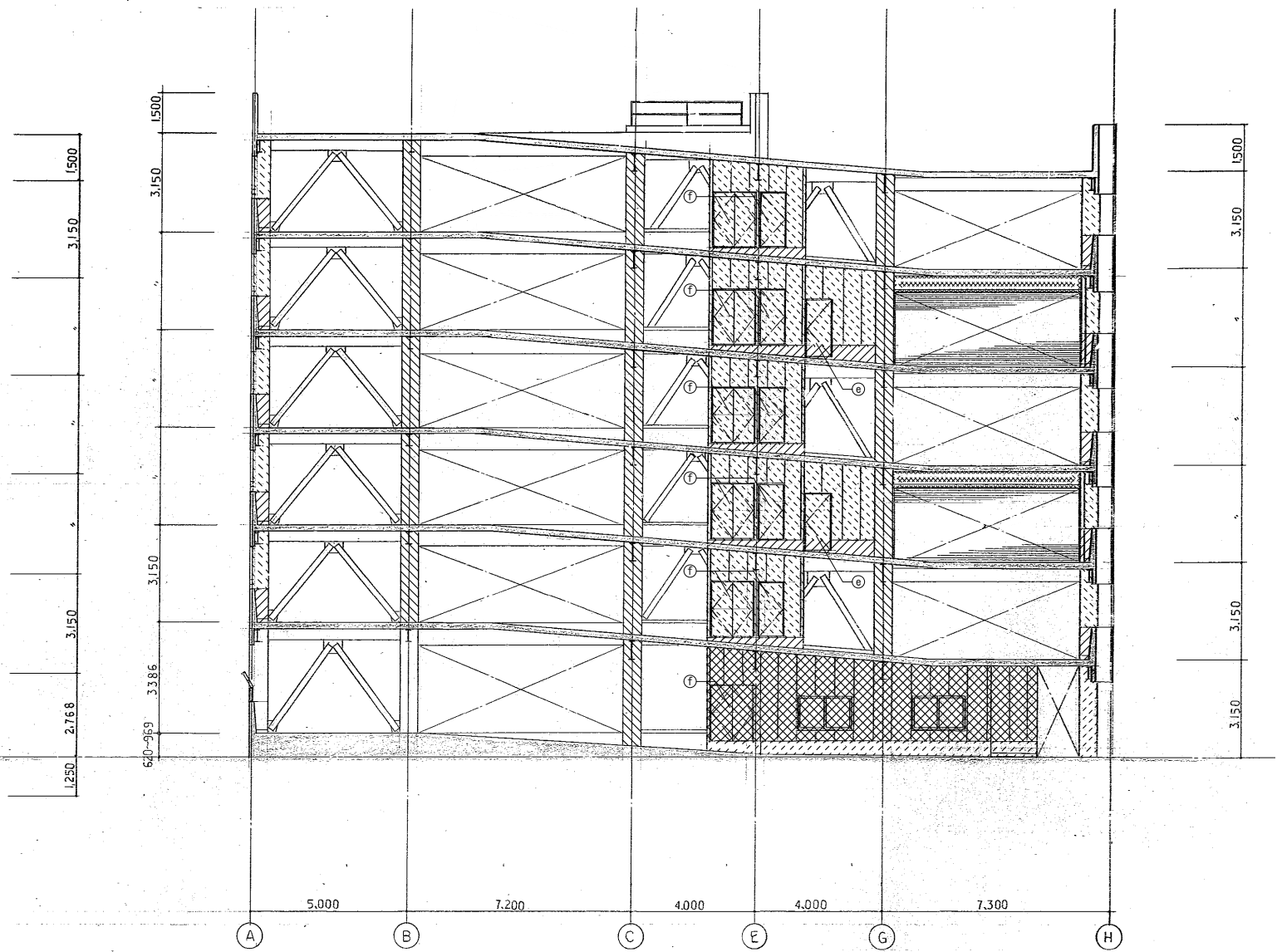
※外部面作業なし

改修範囲	改修内容
	既存：ALC版素地 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	既存：コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	既存：ラスモルタル仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	既存：ALC版吹付けタイル 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③高圧水洗浄 ④下地調整 ⑤複層塗材ローラー塗り
	既存：コンクリート打放吹付けタイル 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③高圧水洗浄 ④下地調整 ⑤複層塗材ローラー塗り
◎：両面 Ⓣ：片面	既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)

※吹付け塗装面は、アスベスト含有している。(調査済み)
 アスベスト除去範囲は、劣化部の改修作業に伴い必要最小限とする。
 ※◎は、その他の扉塗装と色分けを行うこと。



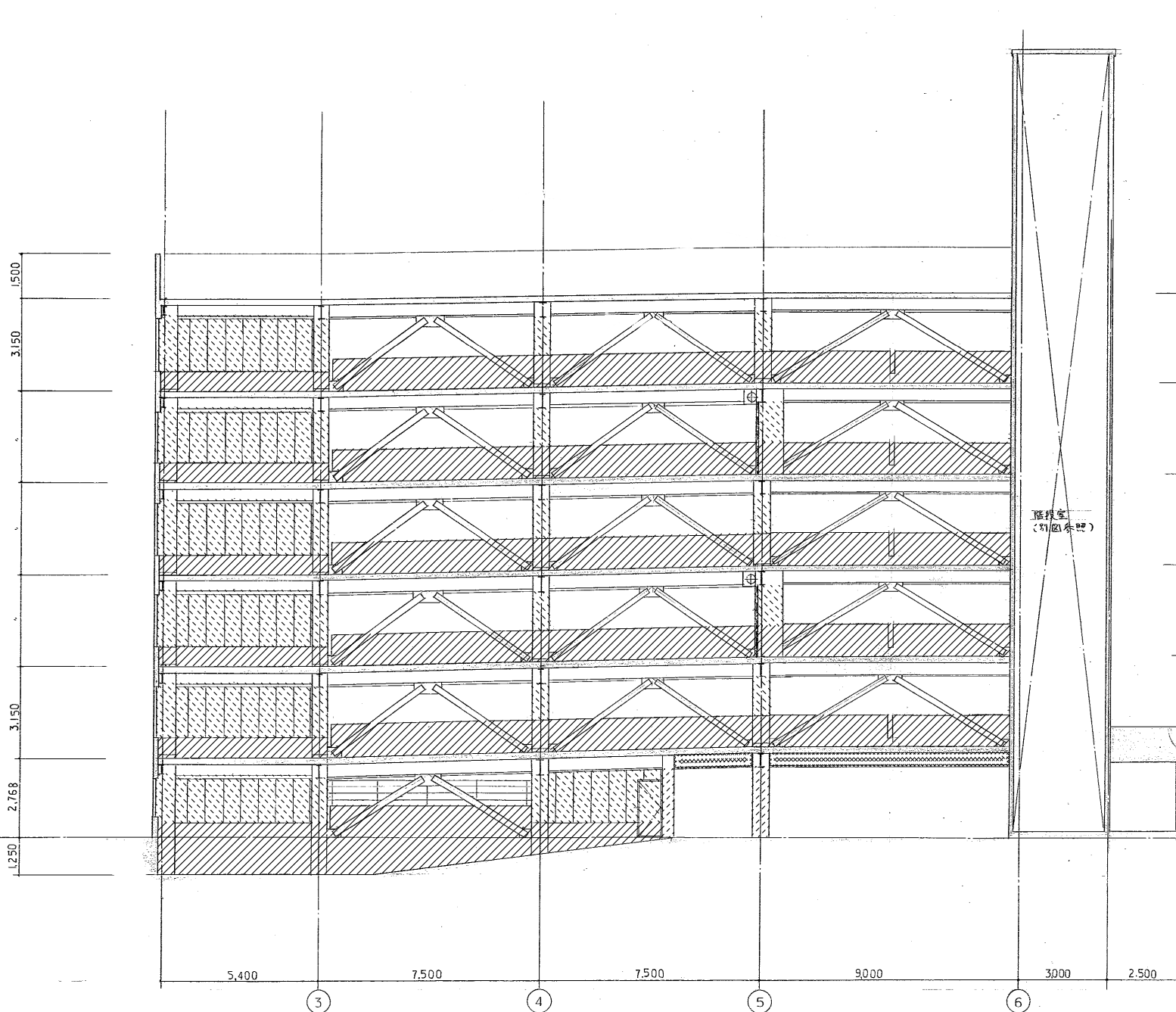
2通り展開図 S=1:200



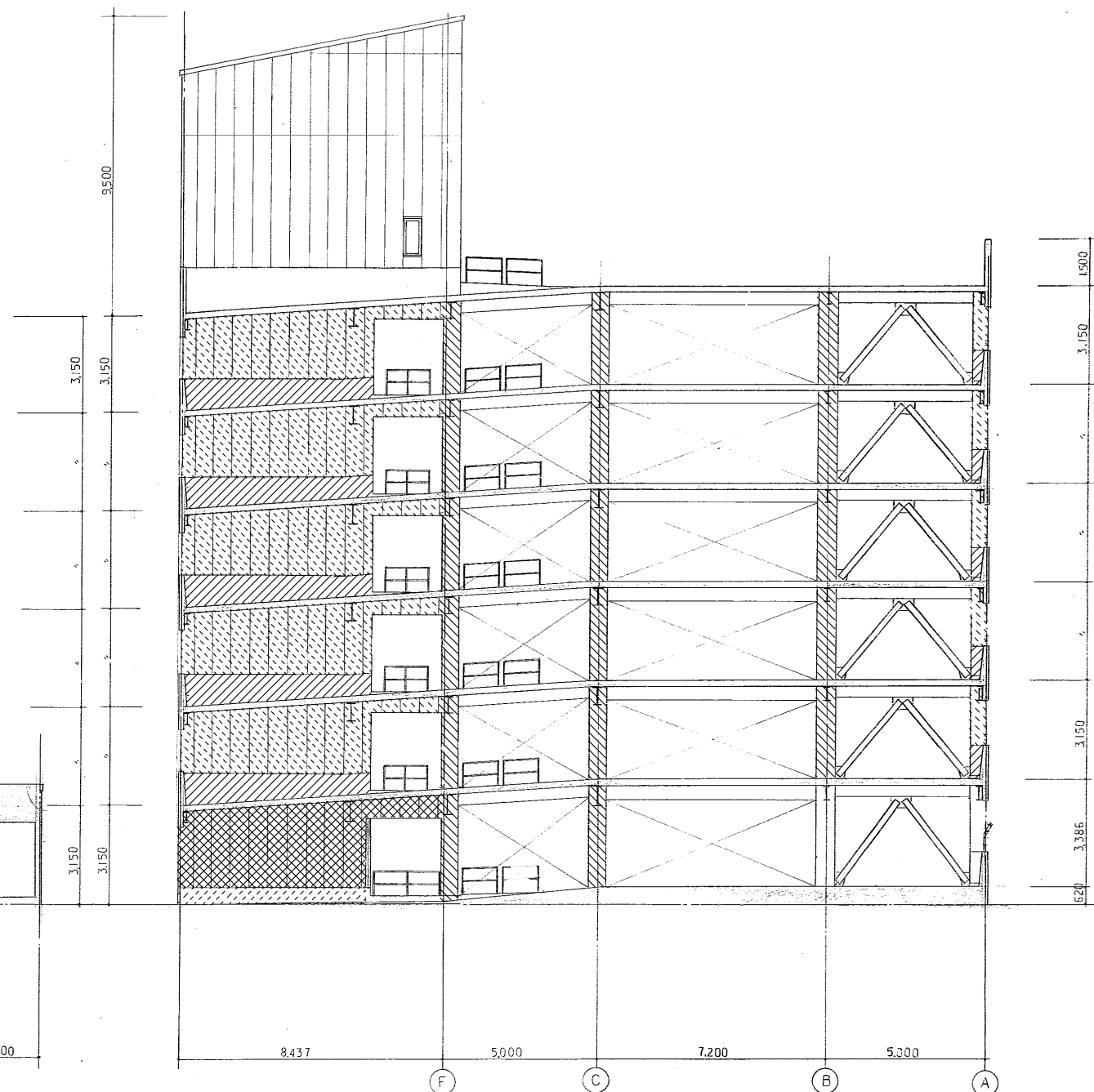
5通り展開図 S=1:200

改修範囲	改修内容
	既存：ALC版素地 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	既存：コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	既存：ラスモルタル仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	既存：ALC版吹付けタイル 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③高圧水洗浄 ④下地調整 ⑤複層塗材ローラー塗り
	既存：コンクリート打放吹付けタイル 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③高圧水洗浄 ④下地調整 ⑤複層塗材ローラー塗り
	既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(R6種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)

※吹付け塗装面は、アスベスト含有している。(調査済み)
 アスベスト除去範囲は、劣化部の改修作業に伴い必要最小限とする。



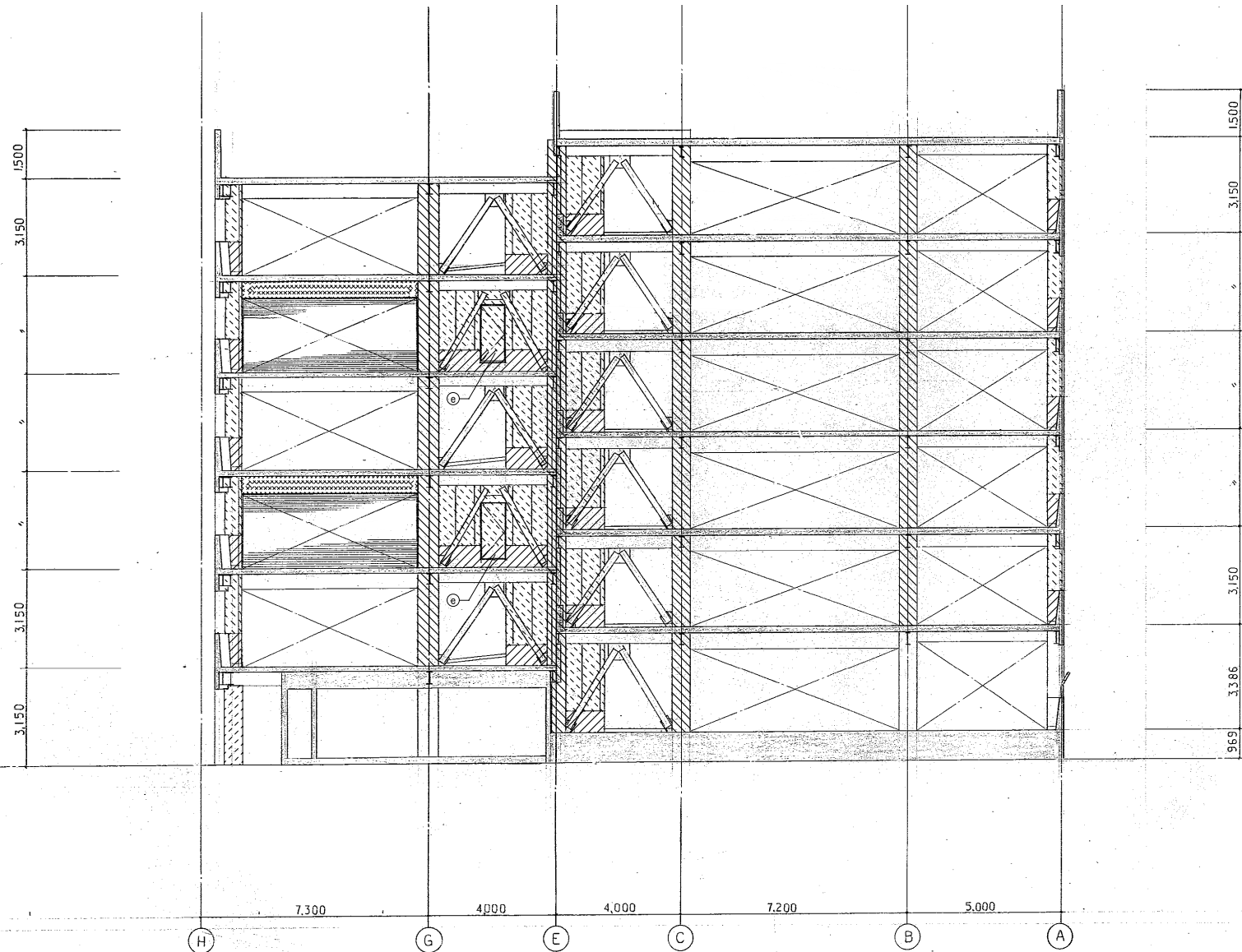
H通り展開図 S=1:200



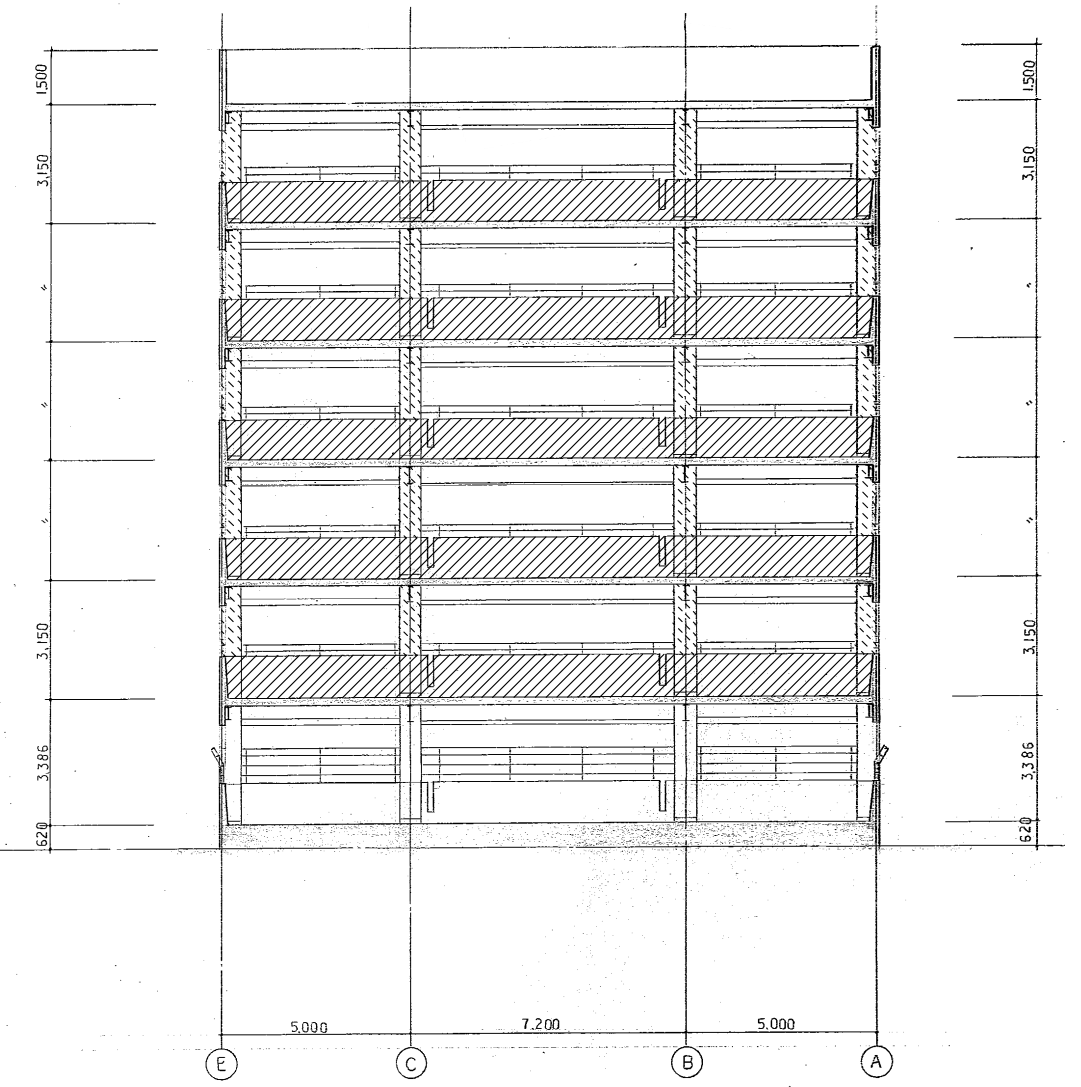
6通り展開図 S=1:200

改修範囲	改修内容
	柱・壁 既存：ALC版素地 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	柱・壁 既存：コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	柱 既存：ラスモルタル仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	柱 既存：コンクリート打放吹付けタイル 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③高圧水洗浄 ④下地調整 ⑤横層塗材ローラー塗り
⑥：両面 ⑦：片面	扉・枠 既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)
	シャッターボックス 既存：スチール製SOP塗装 改修：①下地調整(RB種) ②錆止め塗装 ③DP塗装(3級)



※吹付け塗装面は、アスベスト含有している。(調査済み)
アスベスト除去範囲は、劣化部の改修作業に伴い必要最小限とする。
※⑥は、その他の扉塗装と色分けを行うこと。

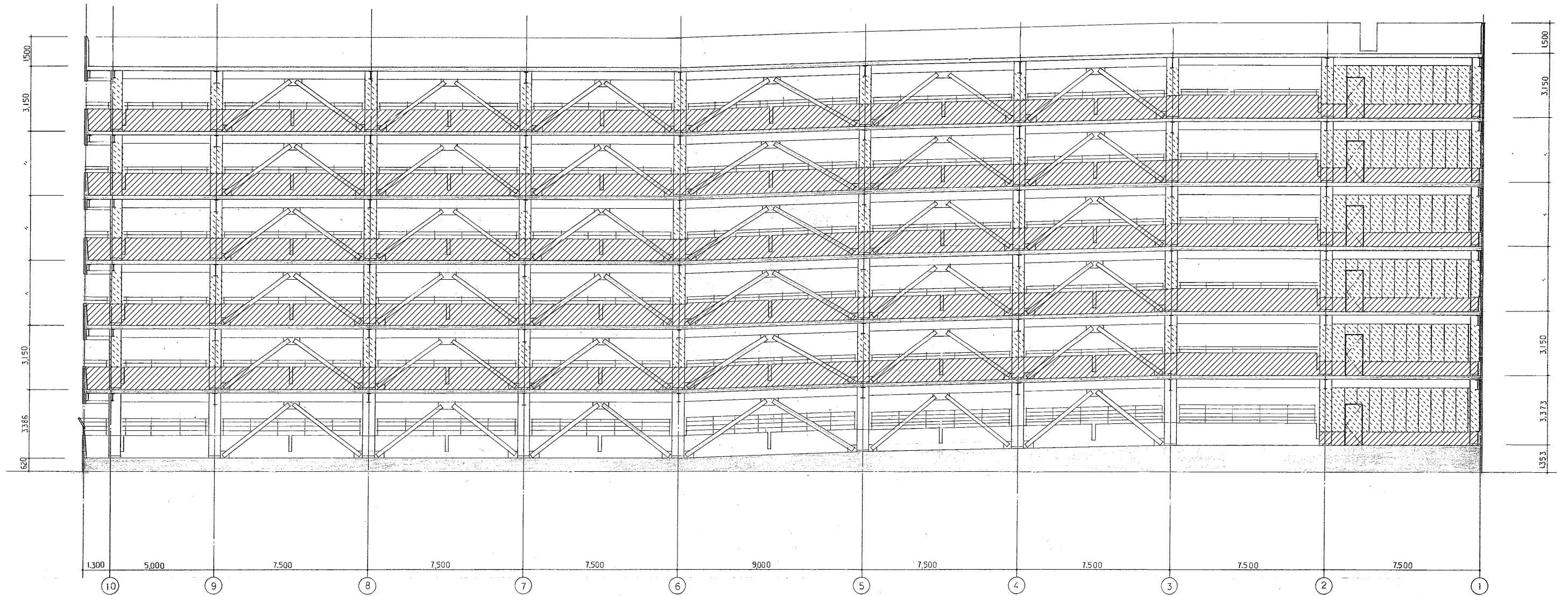


4通り+6,100展開図 S=1:200



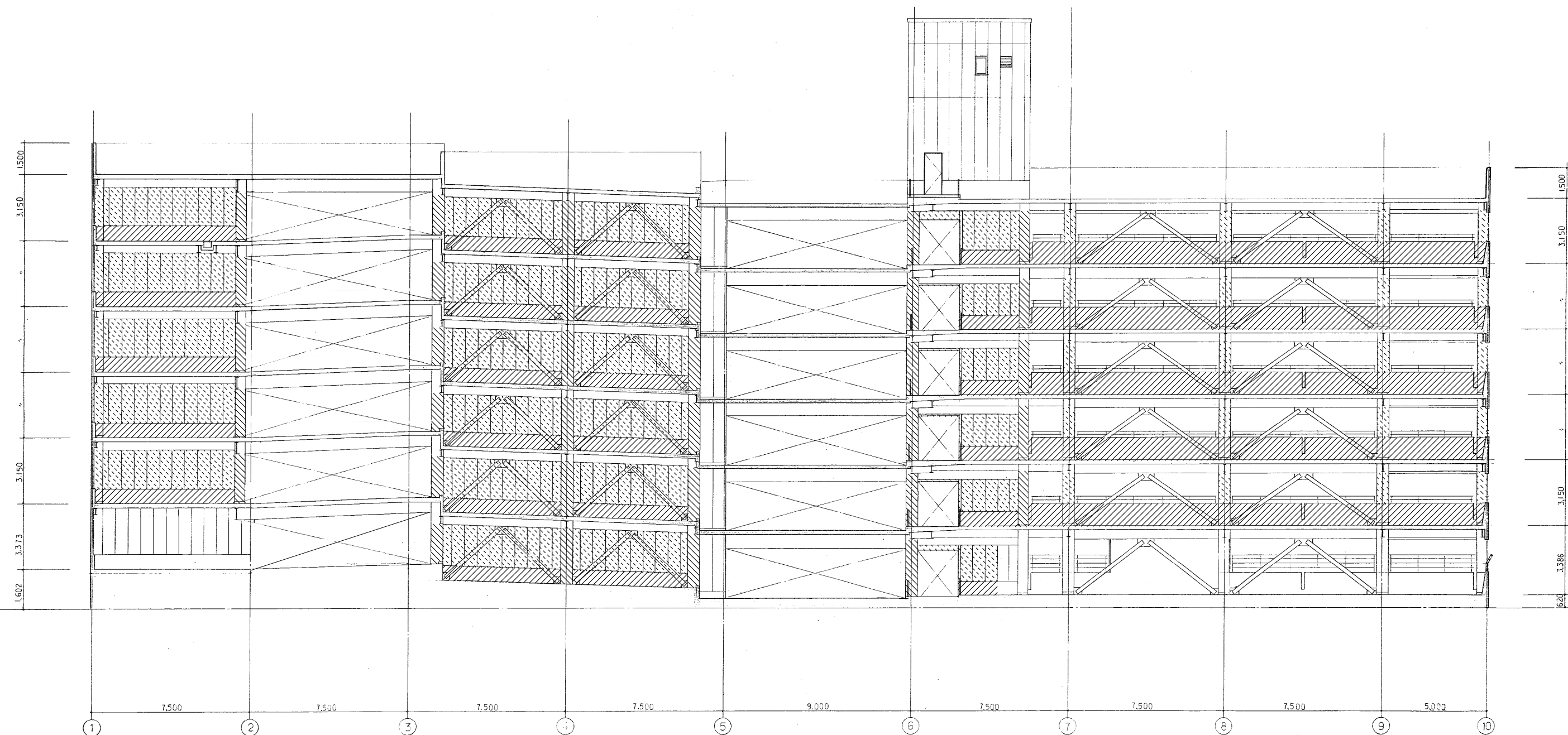
10通り展開図 S=1:200

改修範囲	改修内容
 柱・壁	既存：ALC版素地 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
 柱・壁	既存：コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃



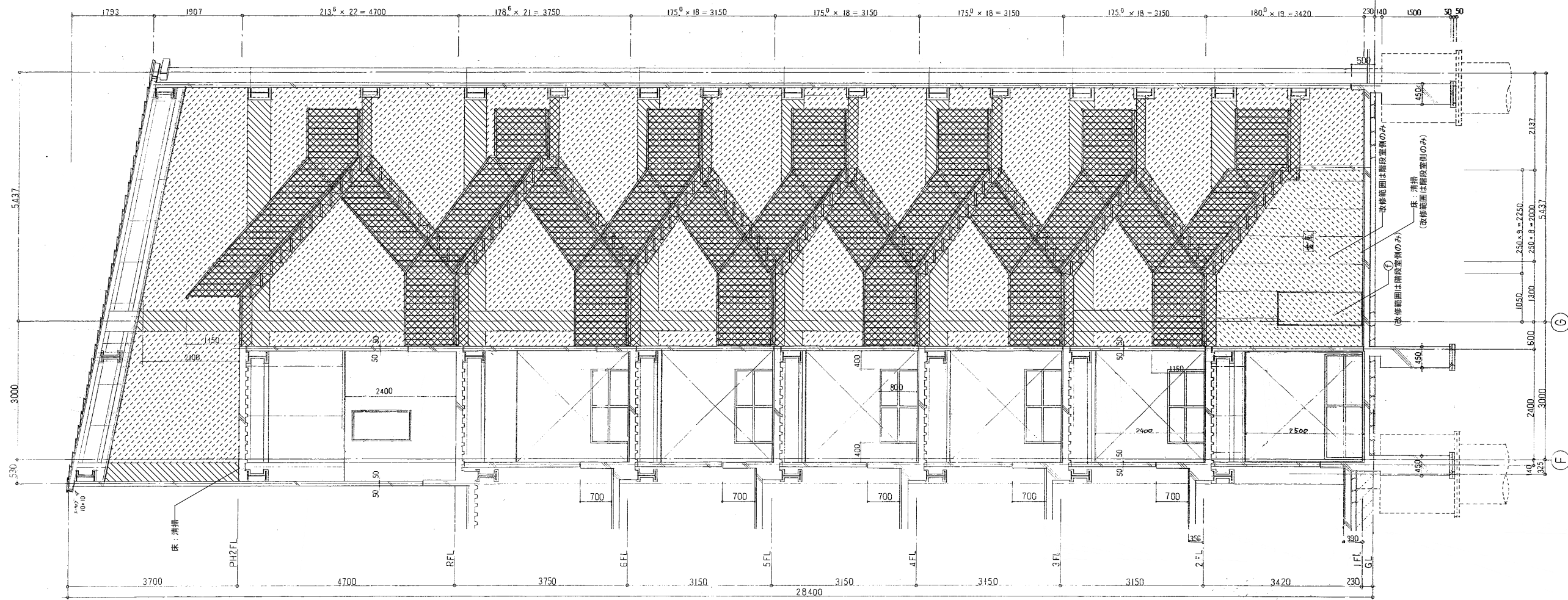
B通り展開図 S=1:200

改修範囲	改修内容
	既存：ALC板素地 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	既存：コンクリート打放仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃
	既存：ラスモルタル仕上げ 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③水洗い清掃

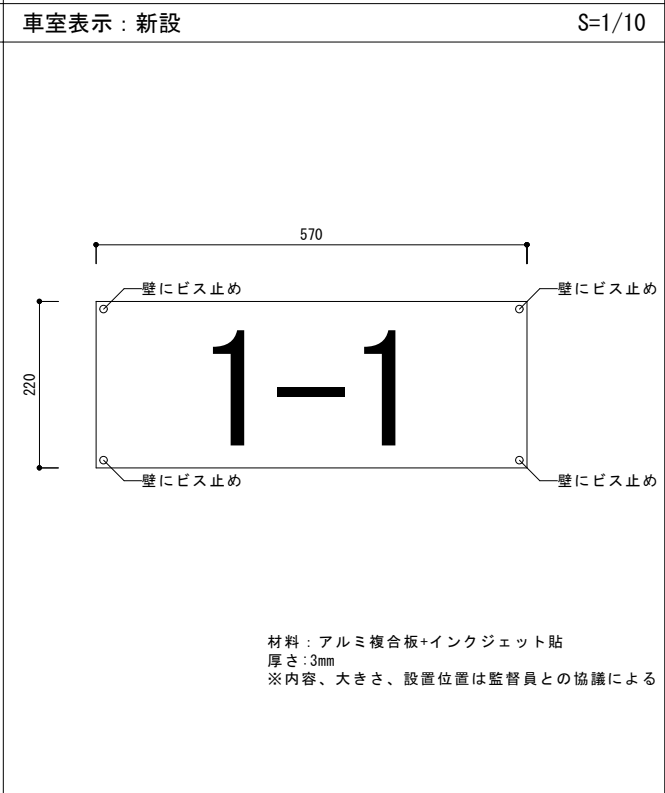
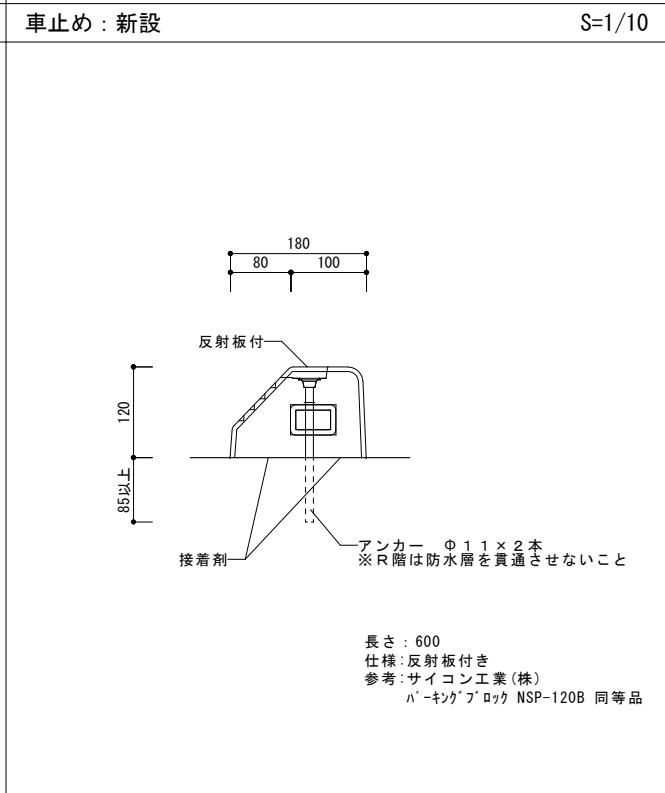
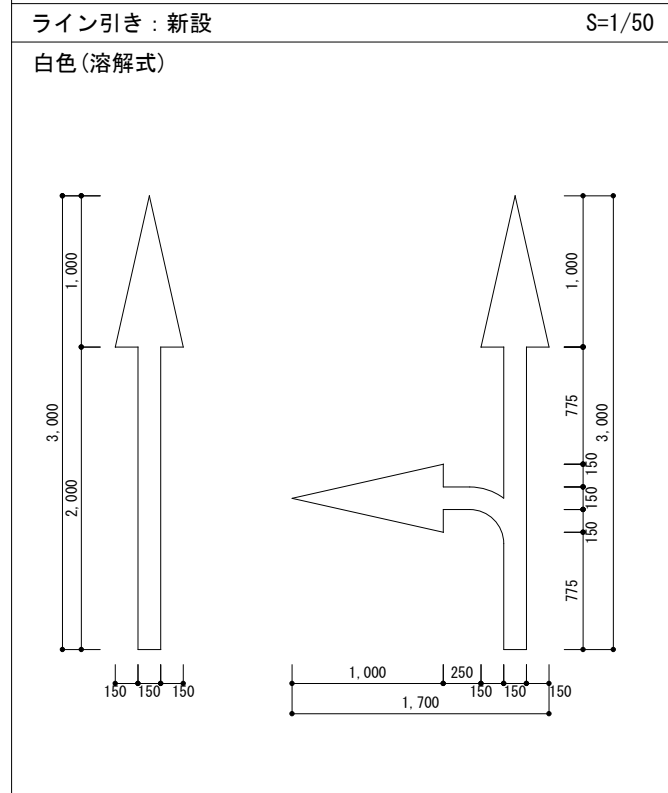
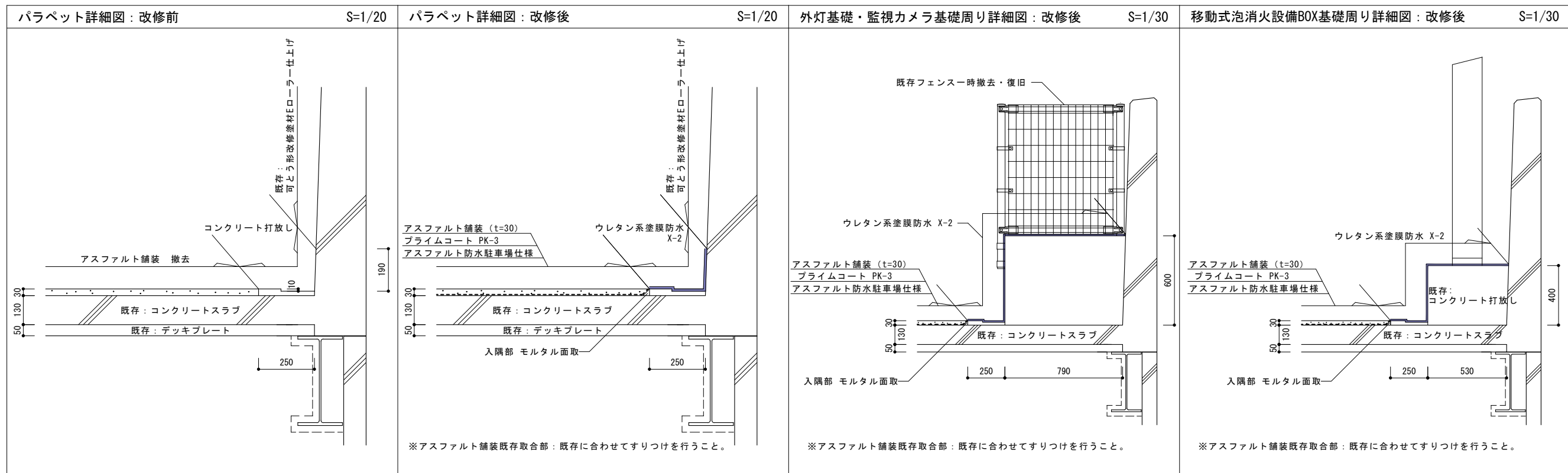


E通り展開図 S=1:200

改修範囲	改修内容
	既存：【ALC面】EP塗装 【コンクリート面】EP塗装 改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整 (R8種) ⑤EP塗装 (R種)
	既存：鉄骨SOP塗装 改修：①下地調整 (R8種) ②錆止め塗装 ③DP塗装 (3級) 改修：ラスモルタル下地調整
	改修：①施工数量調査 ②劣化改修 ③清掃 ④下地調整 (R8種) ⑤EP塗装 (R種)
	既存：鉄骨SOP塗装 改修：①下地調整 (R8種) ②錆止め塗装 ③DP塗装 (3級) 既存：モルタル下地長尺シート張り 改修：①清掃
	改修：①清掃
	既存：コンクリート打放し面塗装 改修：①清掃
	既存：モルタル下地長尺シート張り 改修：①清掃
	既存：スチール基SOP塗装 改修：①下地調整 (R8種) ②錆止め塗装 ③DP塗装 (3級)



階段詳細図 S=1:100



名称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理	
記号・仕様		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.2.6] ひび割れ幅 1.0mm超	
改修前	改修後				
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 *部分） ②高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	
		設計数量： 8.6 m ²		設計数量： 8.8 m	
名称		E 欠損部処理			
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4.2.8]		E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.2.3]	
改修前	改修後				
工程		①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ③欠損はつり部埋戻し [Eポ*キ樹脂モルタル又はホ*リマーセメントモルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [Eポ*キ樹脂モルタル又はホ*リマーセメントモルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	
		設計数量： 0.5 m ²		設計数量： 0.1 m ²	
				E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4.3.3]	
				E-3 ALC面欠損部処理 [標仕4.3.3]	
				①カッター縁切り（C-3） ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ④欠損はつり部埋戻し [Eポ*キ樹脂モルタル又はホ*リマーセメントモルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） （鉄筋の露出部がある場合はE-2による）	
				設計数量： 0.3 m ² （カッター縁切り： 2.6 m）	
				①カッター縁切り（C-3） ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ） ④欠損はつり部埋戻し [Eポ*キ樹脂モルタル又はホ*リマーセメントモルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） （鉄筋の露出部がある場合はE-2による）	
				設計数量： 3.6 m ² （カッター縁切り： 9.8 m）	

項目		工程										備考							
建築 工事	1 準備工事																		
	2 R階：駐車場・ホール																		
	3 6階：駐車場・ホール																		
	4 5階：駐車場・ホール																		
	5 4階：駐車場・ホール																	※1:一部誘導員配置で作業	
	6 3階：駐車場・ホール																		※1:一部誘導員配置で作業
	7 2階：駐車場・ホール																		※1:一部誘導員配置で作業
	8 1階：駐車場・ホール・事務室・駐輪場																		※1:一部誘導員配置で作業
	9 1～PH2階：階段室																		
	10 検査																		完成検査
機械 設備 工事	1 【準備工】																		
	2 工事図書																		
	3 機器手配																		
	4																		
	5 【現地工事】機械設備工事																		
	6 給水設備																		
	7 冷暖房換気設備																		
	8 消火設備（連結送水管）																		
	9 消火設備（特定駐車場用泡消火設備）																		
	10 消火設備（移動式粉末消火設備）																		
	11 【現地工事】電気設備工事																		
	12 電灯設備																		
	13 動力設備																		
	14 火災報知設備																		
	16 拡声設備																		
	17																		
	18 【検査他】																		
	19 着工・設置届・消防検査																		
	20 部分・完成検査機関																		



参考数量書

§ 工事名称 福山市三之丸駐車場改修工事

§ 工事場所 福山市三之丸町地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市三之丸駐車場改修工事

工事場所 福山市三之丸町地内

【工事概要】

・屋上改修工事	一式
・劣化改修工事	一式
・内部改修工事	一式
・塗装改修工事	一式

【別途工事】

- ・消防設備工事(泡消火設備, 自動火災報知設備等)

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築主体工事	1	式		
計				

建築主体工事						
名	称	数	量	単位	金額	備考
仮設工事		1		式		
屋上改修工事		1		式		
劣化改修工事		1		式		
内部改修工事		1		式		
塗装改修工事		1		式		
発生材処分		1		式		
	計					

建築主体工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設工事	1	式		
計					
屋上改修工事	撤去工事	1	式		
屋上改修工事	防水改修工事	1	式		
屋上改修工事	舗装工事	1	式		
計					
劣化改修工事		1	式		
計					
内部改修工事		1	式		
計					
塗装改修工事		1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

建築主体工事		屋上改修工事		撤去工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
カッター入れ	アスファルト面 厚さ30mm	22.6	m			
アスファルト舗装撤去	集積共	898	m ²			
高圧水洗浄	水洗い 高圧水洗機 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm2)	898	m ²			
既存ドレン撤去	Φ100 6個 集積共	1	式			
車止め撤去	W600×D120×H120 集積共	50	個			
車止め撤去	W2440×D120×H120 集積共	3	個			
計						

建築主体工事		屋上改修工事			防水改修工事	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地調整	ポ リマーメントベースト	994	m ²			
防水入隅処理 (モルタル)	立上り入隅面取り	238	m			
アスファルト防水	材工共 非断熱AS舗装仕上対応 駐車場仕様	898	m ²			
ケレン・清掃	全面デッキブラシがけ	96.4	m ²			
改修用ドレン	タテ型 φ100	6	個			
ケルタン塗膜防水 (X-2)	材工共	96.4	m ²			
既存フェンス	一時撤去・復旧	1	式			
計						

建築主体工事	屋上改修工事		舗装工事			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装	厚さ30mm 再生密粒 人力	898	m ²			
ライン引き(白色)	溶融式 W=150	255	m			
ライン引き(橙色)	溶融式 W=300	2.5	m			
誘導マーク(白色)	溶融式 矢印	2	個			
車止め取付	コンクリート製 シール反射レス [®] ビン付 W600×D180×H120	50	個			
計						

建築主体工事		劣化改修工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査	目視, 打診確認, マネック, 計測, 図面記入	3,363	m ²			
外壁アスベスト撤去	養生・清掃含む	1	式			
A-2 モルタル面表面劣化処理		8.6	m ²			
B-2 打放し面ウットシール材充填工法	1.0mm以上 挙動 無し	8.8	m			
B-6 モルタル面ウットシール材注入工法	1.0mm以上 挙動 無し	48.9	m			
C-3 モルタル面カッター縁切り		2.6	m			
C-3 ALC面カッター縁切り		9.8	m			
E-1 打放し面充填工法	ポリマーセメント	0.5	m ²			
E-2 打放し部欠損部処理	ポリマーセメント	0.1	m ²			
E-3 モルタル面欠損部処理	ポリマーセメント	0.3	m ²			
E-3 ALC面欠損部処理	ポリマーセメント	3.6	m ²			
高圧水洗浄	水洗い 高圧水洗機 加圧力15MPa程度(150~200kg/cm ²)	72.5	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	8.6	m ²			
複層塗材 E	ALCベニ面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	63.9	m ²			
計						

建築主体工事		内部改修工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生 (機器及び備品)	ポリエステル製シート 厚さ0.4 撤去含む	53.4	m ²			
床水洗い清掃		75	m ²			
床清掃		199	m ²			
壁水洗い清掃		3,118	m ²			
壁清掃		368	m ²			
天井石綿セメント板撤去	点検口7箇所含む 石綿含有 集積共	88.3	m ²			
天井化粧石膏ボード撤去	点検口3箇所含む 石綿含有 集積共	39.5	m ²			
壁プラスターボード撤去	集積共	9.5	m ²			
天井けい酸カルシウム板張り	厚さ6 不燃 材工共	88.3	m ²			
天井化粧石膏ボード張り	厚さ9.5 不燃 材工共	39.5	m ²			
壁プラスターボード張り (GB-R)	厚12.5 不燃 材工共	9.5	m ²			
天井点検口新設	450角 アルミ製 材工共	10	個			
耐火被覆補修	ロックウール吹付 厚さ35 材工共 撤去・集積含む	1	式			
1階車室表示看板新設	アルミ複合版+インクジェットシート貼り W570×H220 撤去含む	5	個			
2階車室表示看板	一時撤去40個 復旧37個	1	式			
表示板	一時撤去・復旧	1	式			
計						

建築主体工事		発生材処分		発生材運搬費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材運搬	アスファルト	26.9	m ³			
発生材運搬	がれき類	8.4	t			
発生材運搬	石膏ボード	0.1	t			
発生材運搬	ボード類(非飛散性石膏含有)	0.5	t			
発生材運搬	石膏含有仕上塗材	0.1	t			
発生材運搬	混合廃棄物	0.1	t			
計						

建築主体工事		発生材処分		発生材処理費		備 考
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	
発生材処理費	アスファルト	26.9	m ³			
発生材処理費	がれき類	8.4	t			
発生材処理費	ﾌﾞﾗｽﾀｰﾎｰﾄﾞ	0.1	t			
建設廃材処理費	ﾎｰﾄﾞ類(非飛散性ｱｽﾌﾞﾙｽﾄ含有)	0.5	t			
建設廃材処理費	ｱｽﾌﾞﾙｽﾄ含有仕上塗材	0.1	t			
発生材処理費	混合廃棄物	0.1	t			
計						

建築主体工事		仮設工事		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0006
養生 (屋上防水改修)		898	m ²			
養生(内部改修)		7,860	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0007
整理清掃後片付け (屋上防水改修)		898	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)		7,860	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0008
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	7,578	m ²			
内部仕上足場	供用150日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	7,578	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 転用数 6	7,578	m ²			
ローリングタワー	2段 賃料 1ヶ月 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	1	台			
内部階段仕上足場	掛払い手間	132	m ²			
内部階段仕上足場	供用30日賃料 修理費含む	132	m ²			
内部階段仕上足場	基本料 修理費含む	132	m ²			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員B		48	人			
アスベスト除去保護具 消耗品	マスク・ゴーグル等	1	式			
コン・パー	賃料6ヵ月 基本料 賃料共	252	m			
アスベスト含有建材事 前調査費		1	式			
計						